

新刊 廊

2025年10月

～2026年3月

秋冬版

戦国時代の奈良

大河ドラマの主人公・秀長の足跡をたどりながら知る

奈良と茶をめぐる今昔話
奈良の宮大工・奈良の瓦職人

「特別講話」

郡山八幡神社

宮司 上本博之氏

稱念寺

住職 今井慶子師

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

春日大社には、藤堂高虎や直江兼続ら戦国武将から奉納された釣燈籠が遺されています。また豊臣秀長は郡山城に入城後に、春日若宮おん祭を取り仕切る施主を務めました。

戦国時代の奈良

大河ドラマの主人公・秀長の足跡をたどりながら知る



わたしが解説します

奈良大学 教授・博士(人間・環境学)
河内 将芳 (カワウチ マサヨシ)

日本中世史のうち、室町・戦国時代の都市社会史を勉強している。京都や奈良を中心に、都市住民や神社・寺院、あるいは武士や公家たちが織りなす中世独特の都市の社会について勉強している。

筒井順慶と松永久秀
しのぎを削る

室町後期から安土桃山時代にかけての戦国時代、奈良ではどういふことが起こっていたのでしょうか？

筒井順慶と松永久秀の争いがありますね。久秀は、順慶と組む三好三人衆(三好長逸・三好宗満・岩成友通)との戦いで東大寺を焼き討ちし、大仏殿などを焼失させましたが、結果的には自ら築城した多聞城を信長に差し出して、信貴山城に移りました。

久秀が明け渡したあとの多聞城には、信長の家臣である原田直正が大和守護として入った時期があります。また順慶を配下としていた光秀も奈良にやって来るなど、いろいろなかたちで信長が奈良の支配を進めていく状況。今井郷(現奈良県橿原市今井町)も信長との対立を深めていました。

信長が順慶を優先した出来事があり、久秀

奈良の戦国時代抜き書き年表

〔年表中の表記について〕
秀吉、秀長ともに幼名は不明です。また秀長の生まれ年については確定しておらず、亡くなった年齢については51歳説と52歳説があります。当特集では52歳説にのっとり、秀長の年齢を表記しています。

西暦

できごと

奈良にあるゆかりの地

安土桃山時代						室町時代							
1584	1583	1582	1577	1576	1574	1573	1567	1566	1559	1549	1543	1540	1537
45歳	44歳	43歳	38歳	37歳	35歳	34歳	28歳	27歳	20歳	10歳	4歳	1歳	
長秀が小牧・長久手合戦において伊勢松ヶ島城をとともに落城させる	太閤検地開始 賤ヶ岳合戦	本能寺の変	④ 信貴山城が落城、松永久秀が自害する	藤堂高虎が長秀に仕官	織田信長が天下の名香とうたわれる香木「蘭奢待」を切り取る	室町幕府が減じる	③ 松永久秀と三好三人衆の戦いで東大寺大仏殿が焼失	② 筒井順慶が多聞城を攻める	① 松永久秀が筒井城を焼く	キリスト教の伝来	鉄砲の伝来	秀吉生まれる「名の変遷」木下藤吉郎↓羽柴秀吉↓豊臣秀吉	秀長生まれるか「名の変遷」木下小一郎↓木下長秀↓羽柴長秀↓

令和7年第77回正倉院展に「蘭奢待」の名でも知られる宝物「黄熟香」が展示されます。

久秀の茶釜と順慶の洞ヶ峠

「松永久秀は茶釜の名器『平蜘蛛』を叩き割り爆死」、「明智に付くか羽柴に付くか洞ヶ峠で情勢を伺った筒井順慶の態度から日和見すること洞ヶ峠や洞ヶ峠を決め込むという」。インパクトのあるエピソードですが、実はどちらも信憑性はありません。



④ 信貴山城跡
生駒郡平群町信貴山1308番地の1
0745-45-2101 (平群町教育委員会)
0745-45-1017 (平群町観光産業課)
MAP P19 C b-2



③ 東大寺
奈良市雑司町406-1
0742-22-5511
MAP P18 A d-1



② 多聞城跡
奈良市法蓮町1416-1 (若草中学校)
MAP P18 A c-1



① 筒井城跡
大和郡山市筒井町1489-5
MAP P19 C d-1

秀吉と秀長、奈良の人々に見守られ郡山城へ

信貴山城に立てこもって再び反乱を起こした末、信貴山城で自害。また本能寺の変が起こって、信長も光秀も亡くなりました。順慶は引き続き奈良を治め、その後、順慶の養子である筒井定次が後継者となりました。しかし、定次は天下統一を成し遂げた豊臣秀吉から伊賀へ国替えをするよう仰せつけられます。そして、筒井家が出て行った郡山城に城主として入ったのは、秀吉の弟である豊臣秀長でした。

秀吉と秀長は5千ほどと伝わる軍勢とともに入国しました。その様子を興福寺や東大寺の関係者、町人ら多くの奈良の人々が迎えています。それまでと異なり、秀吉と秀長の時代を通して、大和の社寺との対立はあまりありませんでした。

有能な統治者だったということでしょうか。秀長はどんな政治を行いましたか？

秀長は生きていたときは、実はそれほど奈良にいないんですよ。秀吉と一緒に行動しているのが大坂（現大阪）や京都にいて、ときどき奈良、郡山に帰ってきました。

その間、大和の国を治めていたのは豊臣家の家臣たちです。郡山城主となった秀長は有力な家来たちを選んで置いたと思われれます。宇陀松山城や高取城がそうですね。

西暦	秀長年齢	出来事
1584	45歳	美濃西願寺へ「美濃守秀長」の署名で禁制を出す。これより先、長秀から秀長に改名する。
1585	46歳	秀吉が関白に任官し豊臣姓を賜る。秀吉に伴い秀長も豊臣秀長を名乗る。
1586	47歳	5 秀吉とともに秀長が郡山城に、豊臣家家臣の伊藤義之が宇陀松山城に入る。 秀長は奈良における一切の商売を止め、郡山にて売買させる
1587	48歳	大友宗麟が大坂城に秀吉を訪ねる。この際秀長から「内々の儀は宗易（千利休）、公儀の事は宰相（秀長）存じ候」と声をかけられたことをのちに書状に記す
1588	49歳	秀長、「大納言」に任官、大和大納言とよばれる 多武峰より大織冠（藤原鎌足木像）が郡山に遷座 刀狩がおこなわれる
1589	50歳	6 毛利輝元、小早川隆景、吉川広家を郡山に迎え、奈良見物に淀城にて秀吉若公（鶴松）誕生する
1590	51歳	秀長夫人、諸国郡山大名衆夫人の在京が命じられる 7 秀長の命を受けて本多利久が高取城を大規模改修
1591	52歳	秀長、春日社三十八所屋に参籠する 秀長、熊野那智山の鰐口鑄造を東大寺戒壇院にて見物 秀吉の小田原攻めにより北条氏が降伏。秀吉が全国統一を果たす 秀長、東大寺八幡宮造営をみる 秀長を見舞うため秀吉が郡山をおとずれる 大織冠が多武峰に帰座する 秀長娘と養子御虎が祝言をあげる

出来事

奈良にあるゆかりの地



6 興福寺
奈良市登大路町48
0742-22-7755
MAP P18 A c-2



6 春日大社
奈良市春日野町160
0742-22-7788
MAP P18 A d-2



5 宇陀松山城下にある西口関門
宇陀市大宇陀下茶・上茶
0745-82-3976
(宇陀市教育委員会事務局文化財課)
MAP P21 II b-2



5 郡山城跡
大和郡山市城内町2-255
0743-53-1151 (大和郡山市)
MAP P19 C d-1

宇陀松山城は秀長の入国に伴い秀吉家臣の伊藤義之が、またその後も秀長の配下だった多賀秀種など豊臣家ゆかりの人物が知行高取城を「日本三大山城」と呼ばれる城に築き上げたのは秀長の家臣で高取城主となった本多利久なのです。

新庄藩の桑山氏も所縁がありますね。初代藩主・桑山一晴の祖父である桑山重晴は、賤ヶ岳の合戦で秀吉軍として戦い活躍しました。

「毛利輝元御一行様 奈良一泊観光をする」

「あまり奈良にいなかったという秀長ですが、奈良での印象的な出来事などありますか？」

毛利輝元、小早川隆景、吉川広家を迎えて、すぐ接待しているんですよ。郡山城では三人を招いて茶会を開いたり、お能を見せたり、さらに同じ日に奈良見物に向かう三人に同道しています。猿沢池と采女塚、興福寺、東大寺、春日大社、若草山、三笠山を観光していますから、今と一緒ですよ。

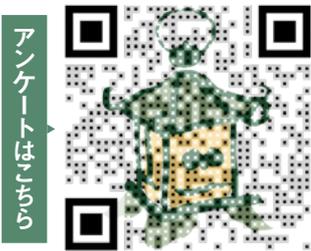
観光を終えて、その夜の宿所に戻った毛利一行でしたが、夜になってさらに秀長から「夜話をしよう」と誘われます。宴会ですね。宴会は真夜中まで続き、翌朝も秀長から朝食を饗されます。これでもかという秀長のもてなしについて輝元は『輝元公上洛日記』で感謝の気持ちを綴りました。その数日後、輝元は大坂で秀吉と対面しているのですが、秀長もその場にいました。輝元は秀吉が去ったあとに、秀長の宿所をわざわざ訪ねて話し込んだ



『祈りの回廊』 読者プレゼント!!

応募期間 2025年10月1日～
2026年2月28日まで

皆様のご感想・ご意見を今後の参考
にさせていただくために本誌アン
ケートへのご協力をお願いします。
アンケートにお答えいただいた方
の中から抽選で「祈りの回廊 オリ
ジナルメモ帳」をプレゼント!!



アンケートはこちら

https://qlear.cloud/kspkk/inori_25akifuyu

抽選で 祈りの回廊
オリジナルメモ帳
プレゼント!!



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

【動作条件】●ご利用端末に応じて以下のブラウザでアクセスください。『iOS (iPhone iPad)=Safari』『Android=Chrome』●リーダーアプリをご利用の場合はアプリ内ブラウザを選択せず、上記ブラウザをご利用ください。●上記ブラウザを使用しても正常に動作しない場合は、『シークレットモード/プライベートモードを解除』『cookieとJava scriptをオン』の状態でごアクセスいただきますようお願いいたします。

江戸時代

1603	1601	1600	1599	1598	1597	1595	1594	1593	1592
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

徳川家康が江戸幕府を開く

9 賤ヶ岳合戦で奮闘した秀長の配下・桑山重晴を祖父に持つ桑山一晴が新庄藩の初代藩主となる

関ヶ原の戦い

藤堂高虎が秀長の菩提寺を京都に移築

秀吉62歳で亡くなる

慶長の役

豊臣秀次（秀吉の甥）が高野山で切腹

8 秀吉が吉野山で花見をおこなう

若公（秀頼）誕生する

文禄の役

若公（鶴松）亡くなる

千利休が秀吉の命で切腹

秀吉52歳で亡くなる。郡山にて葬送がおこなわれる

大和郡山市内には秀吉を偲ぶ墓所「大納言塚」などが残されています。



⑨ 新庄藩陣屋跡

📍 葛城市南藤井17 屋敷山公園
☎ 0745-64-1414 (葛城市歴史博物館)
📍 MAP P20 G a-2



⑧ 吉野山

📍 奈良県吉野郡吉野町吉野山
☎ 0746-34-2522 (吉野ビクターズビューロー)
📍 MAP P21 奈良県地図



⑦ 高取城跡

📍 高市郡高取町高取
☎ 0744-52-1150 (高取町観光協会)
📍 MAP P19 D a-2

吉水神社の書院には秀長の「花押」(※1)が展示されています。



吉水神社

📍 吉野郡吉野町吉野山 579
☎ 0746-32-3024
📍 MAP P20 G c-2

吉水院（吉水神社）を本陣として催された秀吉の吉野山での大花見には約5千人が参加したと伝わります。徳川家康、伊達政宗、加藤清正、前田利家、宇喜多秀家など名だたる武将、公家や茶人、連歌師などが集いました。秀吉の母、秀長、千利休は亡くなってからのことでした。

母と弟亡き後の太閤秀吉 吉野山で花見をする

といいます。それほど秀長の奈良でのものなしが特別だったのかもしれない。

(※1)直筆のサイン。



弘法大師が伝えた 奈良と茶をめぐる今昔話

戦国武将も夢中に

奈良に生まれた
侘び茶の創始者・村田珠光



称名寺

珠光によって建てられたという茶室「独慮庵」(江戸後期の再建)があります。

📍 奈良市菖蒲池町7

☎ 0742-23-4438

📍 MAP P18 A c-1



佛隆寺

空海の高弟、堅恵創建と伝わります。県指定天然記念物である参道の桜は、樹齢900年を超え、県下最古かつ最大級です。

📍 宇陀市榛原赤埴1684

☎ 0745-82-2457 (宇陀市観光課)

📍 MAP P21 I c-2

お茶が日本に伝来したことについては「奈良時代〜平安時代に遣唐使が唐よりお茶の種子を持ち帰った」とされています。奈良の大和茶においては「弘法大師が唐から持ち帰った茶の種子を弟子である堅恵に与えて佛隆寺に蒔いたのが茶の栽培の始まり」と言い伝えられてきました。

長らく葉として用いられてきた茶は、後年新たな側面を持つことになりました。

戦国時代を生きた武将にとって茶会はさまざまな意味を持ちます。人間関係を構築し、情報を収集し、ときに命がけの折衝が行われる場だったからです。織田信長は茶の湯を政治利用しつつ、茶道具の名品を蒐集しました。いわゆる「名物狩り」です。

茶道発祥の地とされる奈良では、茶道に欠かせない道具類が長年作られてきました。赤膚焼もその一つです。陶としての起こりは古代に遡るともされます。茶陶として赤膚の名をさせたの



秀長が命じた赤膚焼の振興と
鶯餅の元祖となった菓子

その始祖とされるのが室町時代の茶人・村田珠光です。珠光は奈良で生まれ、11歳のときに、興福寺の別院で念仏の道場として創建した称名寺に入寺したと伝わります。その後、寺を出た珠光は能や禅を学び、当時の豪華絢爛な茶の湯とは対照的なあり方を見出しました。茶に精神性を求める「侘び茶」の誕生です。珠光は「和漢のさかいをまぎらかす」という一文も残しています。日本的なものと中国的なものを一体感を持って調和させるという思想を実践したのでした。

なお称名寺では珠光の命日の5月15日に「珠光忌」が営まれ、本堂と茶室が特別公開されます。



本家菊屋 本店

郡山城門前に店を構えて400年以上の歴史を持つ老舗和菓子店。

📍 大和郡山市柳1丁目11

☎ 0743-52-0035

📍 MAP P19 G d-1



なら工藝館

奈良の伝統工芸である赤膚焼や奈良漆器などを展示・販売しています。

📍 奈良市阿字万字町1番地の1

☎ 0742-27-0033

📍 MAP P18 A c-2

は、大和郡山城主となった豊臣秀長が尾張国の常滑(現愛知県常滑)から陶工を招いて赤膚山(現奈良市五条山周辺)で窯を開かせたことが大きなきっかけでした。

秀長は折に触れ茶会を催してもおり、兄の秀吉を迎える茶会では、秀長が郡山城に入る際に連れてきたとされる菓子職人に秀吉好みの菓子を誂えさせるなど、多様な視点で茶の湯文化を深めました。秀吉が



鶯餅の原型といわれる
本家菊屋の「御城之口餅」



西大寺

南都七大寺に数えられる西大寺。
上の写真は「大茶盛式」の様子です。

📍 奈良市西大寺芝町1-1-5
☎ 0742-45-4700

📍 MAP [MAP](#) [a-1](#)



當麻寺中之坊

白鳳・天平様式の大伽藍を有する當麻寺最古の僧房で中将姫ゆかりの寺。

📍 葛城市當麻1263

☎ 0745-48-2001

📍 MAP [P20](#) [a-1](#)



慈光院

拝観の際は庭園を眺めながら井戸水で点てたお抹茶を一服いただけます。

📍 大和郡山市小泉町865

☎ 0743-53-3004

📍 MAP [P19](#) [c-1](#)



生駒市高山竹林園

茶釜・茶道具・編針などの竹製品を展示・販売。高山茶釜制作実演見学や、お抹茶体験ができます。

📍 生駒市高山町 3440 番地

☎ 0743-79-3344

📍 MAP [P21](#) [奈良県地図](#)

(※1) 安土桃山時代から江戸時代にかけて、茶の湯文化を好んだ大名。

(※2) 當麻寺中之坊「香藕園」、慈光院庭園、吉野町にある「竹林院群芳園」のこと。

江戸時代に茶の世界を牽引した人物で、奈良と深い縁を持つ二人の大名がいます。小堀遠州と片桐石州です。遠州の父は秀長に仕える八老中の一人で、主に付き従い郡山に移住。遠州は多感な時期を奈良で過ごしました。父の教育により幼少から千利休や古田織部に師事、「綺麗さび」と表現される遠州流茶道の創始者となった遠州は、

二人の数寄大名(※1)が
茶道を通して残した工芸と庭

大変気に入ったというその菓子や餅の元祖ともされています。この時代の茶会については、奈良の転吉門近くに住んでいた塗師屋であり豪商の松屋が編集した『松屋会記』が貴重な史料となっています。源三郎久政・久好・久重の松屋三代に渡って作られた約120年分の茶会について詳細に記された茶会記です。

現代の私たちも楽しめる
奈良のビックリお茶会

奈良のお茶にまつわる事柄と聞いて西大寺の「大茶盛式」を思い浮かべる方は多いのでは。「延応元年(1239)1月16日、叡尊上人が西大寺復興のお礼に八幡神社に献茶した余服を民衆に振る舞ったことに由来する」という茶儀は、毎年1月16日に行う「新春初釜大茶盛式」のほか、春と秋にも催されています。

造園の能力にも優れ、また美術工芸の発展にも尽くしました。茶碗や水指などの茶陶、竹茶杓、漆芸の香合など「遠州好み」とされる工芸が今に伝えられています。遠州の跡を継ぐ存在が石州です。大和小泉藩初代藩主である片桐貞隆の長男として誕生。千利休の子・道安の門下であった桑山宗仙(貞晴)に茶を学んだとされ、茶道石州流の祖となりました。その石州の偉業を体感できるのが、當麻寺中之坊にある東塔を借景とした桃山期の名庭を石州が改修し現在の姿となった「香藕園」と、初代藩主である父の菩提寺として建立した寺院であり境内全体を一つの茶席として造った「慈光院」。大和三名園(※2)として挙げられる傑作のうち二つが石州の作庭なのです。

社寺の建造物に欠かせない技術を守る、受け継ぐ。
奈良の社寺を支える4人の瓦職人と宮大工に、伝統の技と現代の現場をつなぐ思いを語ってもらいました。

建築の現場ではお互い密な関係が必要だと思いますが、連携で特に大切にしていることは？

串崎：宮大工さんの仕事の精度は非常にきっちりしていて、それに応えるような仕事を心がけています。原寸図を使って綿密に打ち合わせを行うので、下地づくりもスムーズに進みます。屋根があつて初めて瓦が葺けます。宮大工さんとの連携は不可欠です。

瀧川：事前に図面で細部を合わせれば現場での無駄が減ります。山本瓦さんたちのような長年ご一緒している職人さんとは言葉少なでも意思の疎通ができています。

瀧川：仕上がったときに「美しく見えるか」がすべてだと思っています。そのためには、瓦と木工の精密な噛み合わせが欠かせません。

山本：昔は現場で合わせ



(左から) 施工準備に使用する道具(平瓦谷深選別用、軒丸選別用)や、施工時に使用する勾配定規、タガネ、瓦葺金槌、スルメゴテ。

聞きますが、今は事前の精密な準備が安全や工程を守るためにも必須ですね。

新築と修復、それぞれの違いについて教えてください

山本：普段は修復がほとんどで、今回の平城宮跡第一次大極殿院東楼復原のような新築の現場は非常に稀です。新築では鉄骨との併用など新しい要素に対応する緊張感があります。修復では文化財として既存部材を極力残し、小さな傷みも削って継ぎ足すなど、根気のいる作業が続きます。

串崎：瓦はまず割れやひびを確認し、次に歪みやねじれを一枚ずつ検査します。髪の毛のような細かな傷・クラック(ひび)及び、

右：山本健二氏 (山本瓦工業 代表)
左：串崎 彰氏 (山本瓦工業 職人)



奈良の瓦職人

山本瓦工業株式会社 山本健二氏・串崎 彰氏



平城宮跡第一次大極殿院東楼(回廊)の平瓦を葺いている様子。



飛檐垂木(ひえんだるき)の小口(こぐち)の仕上げ作業。
背面に槍鉤(やりがんな)を構えた独特の姿勢がこの作業では安定する。



右：瀧川 悟氏（瀧川寺社建築 代表取締役）
左：瀧川眞幸氏（瀧川寺社建築 宮大工）

奈良の宮大工

株式会社瀧川寺社建築 瀧川 悟氏・瀧川眞幸氏

歪みやねじれも一枚一枚丁寧に確認し、使用できるか判断します。何万枚の中から選び抜く工程は、地道で根気のいる作業ですね。



（左端から）飛鳥時代より使われていたとされる「槍鉤」をはじめ、大鉋、大突鑿（おつきのみ）、新（ちょうな）、穴屋鑿（あなやのみ）、ヨキなどの伝統的な宮大工道具の数々。

読み取れるように。

瀧川悟…大工仕事も同じです。文化財建築の修復では、基本的に部材をまるごと取り替えることができない。悪い部分だけを補い、元の姿を守ることが最大の使命です。確かに手間はかかりますが、その分、職人としてのやりがいも感じます。

山本…修復は残すべきを残し、改善が必要な部分を変える。新築は自分の仕事「初期形」になります。そういった責任の重さを感じながら仕事をしています。

皆さんの仕事は100年、200年後に残ります。未来に伝えたい思いは？

串崎…足場が外れた後、地上から見た瓦のラインが美しく揃っているか。それこそが私たちの仕事の証しです。「なぜこのように葺いたのか」を、瓦の形から感じてもらえたら、それだけで十分伝わるのではないかと思います。

瀧川眞幸…先々に教えられたのは「解体することで先人の職人と対話ができる」ということ。今私たちが手がけている建物も、将来の誰かが見て「令和の職人はこういう工夫をしていたのか」と感じてくれるかもしれない。だから私たちの仕上げにも意図を残し、丁寧に仕上げよう心がけています。なぜこの処理をしたのか、次の世代が

瀧川悟…現在私たちが山本さんたちとともに担当している平城宮跡歴史公園第一次大極殿院東楼復原整備工事は、2026年3月に竣工予定です。
山本…このような大規模な現場は数年単位で進行します。一つひとつ、確実に、誠実に仕上げたいことを大切にしていきたいです。

祈りの回廊



こおりやまはちまんじんじゃ うえもとひろゆき
郡山八幡神社 宮司 上本博之氏
 1968年奈良県生まれ。奈良教育大学を卒業し小学校教員を勤めながら禰宜として父である宮司を補佐。2009年教員を辞し宮司に就任。「神様とご参拝の皆さんの中執持として励みたい」。



地域産業や子供神楽を広める 宇佐八幡ゆかりの氏神様

―郡山八幡神社はもともと違う場所にあったと伺いました。

東大寺大仏殿造立の際、九州の宇佐神宮から勧請した八幡神を分祀し、現在の郡山城跡公園の北西に位置する小高い土地に祀ったのが最初とされます。文献で確認できるのは室町中期頃ですが、社伝では創建はもう少し早い時期であったと伝われます。後に豊臣秀長が郡山城に入られるとき、城を大きく強いものにするにあたって当社は遷座しました。一度大和郡山市内の「綿町」に遷ってから現在地に鎮座したようです。最初の小高い場所は「柳」という地域で、今当社がある地も「柳」という地名となり、「柳八幡宮」とも呼ばれています。

―「クラブ神社」としても知られておられますね。

10年程前になりますが、近鉄郡山駅近くにあるクラブ工房さんがご参拝においでになったこ

とをきっかけに各所から不要になったクラブを当社に納めていただいて、海外の子どもたちに贈る活動をしています。東北で震災が起こったときには、現地の子どもたちにもお届けしました。子どもたちには元氣いっぱいに遊んでほしいですね。八幡様は勝負の神様なので必勝祈願やプレーの上達を願ってのご参拝も増えました。以前はクラブ祭という行事をしていましたが、コロナ禍以降中止してしま

あるので、今からまた急がず、たゆまず、ゆつくりと紡ぎ直していかなければと思っているところです。

―例えばどういったことを紡いでいきたいとお考えでしょうか？

地域のお子さんに集まってもらい、巫女さんのお稽古をスタートして10年ほどの取り組みで現在も続いています。当初は

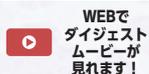
幼稚園生や小学校の低学年だった子たちが大きくなり、夏祭りや秋祭りのときなど拝殿で美しく神楽を舞ってくれます。ただ次世代につなげるのは難しいですね。でも、続けてくれている子たちは「お神楽が楽しい、舞うのが楽しい、お稽古が好き」と言ってくれています。そういう気持ちを地域の皆様と一緒に、この場所で後世に引き継いでいけたらうれしいですね。そうそう、本殿と拝殿の間に安置する狛犬が江戸初期頃の木製で少し珍しいものだそうです。そうしたこともお伝えしていきたいです。



大和郡山市柳4丁目25
 MAP [P19](#) [Q-1](#)
 0743-52-2746
 近鉄郡山駅から徒歩約8分
 JR郡山駅から徒歩約15分
<https://kooriyamahatamanjinjya.com/>



WEBで
 ダイジェスト
 ムービーが
 見れます！



奈良県観光プロモーション 公式YouTubeチャンネルで、特別講話のダイジェストムービーを視聴することができます。過去の特別講話ダイジェストムービーや、その他、様々な奈良県観光PR動画も発信しています。



特別講話



しょうねんじ 住職 今井慶子 師

榎原市出身。稱念寺住職の長女として生まれる。父と兄を亡くし、稱念寺住職代理を経て2016年から現職。能登半島震災の際はチャリティーを行い義援金を集めるなど奉仕活動を続ける。



町とともにあり続ける御坊として、 人々が集う居場所に



WEBで
ダイジェスト
ムービーが
見れます!

―稱念寺の創建について教えてください。

室町時代、「今井郷」や「今井の里」と呼ばれた興福寺一乗院の莊園に今井兵部卿が道場を建てたことに始まります。道場改め稱念寺となったのは慶長5年（1600）頃です。ご本尊は阿弥陀如来さまで、そのお隣にご本山にいただいた親鸞上人の絵像。この絵像は遠目だと立体的に見える、御坊（※）にしかない貴重なものです。紀州藩とのゆかりも深く、紀州藩主のお位牌も安置しています。

―稱念寺の寺内町である今井町は裕福な町だったそうですね。

道場主は代々お侍さんでもありました。町をつくり守ってくれるのがお侍さんでありお侍さんでもあることが頼もしかったのでしよう。近隣のお金持ちが今井町に引っ越してきて、どんどん発展したようです。そこに目を付けた一人が織田信長で、

金持ちの町は攻め落とすより残すほうがいいと思われたのか

「今井町には攻めいらぬので税金を納めるように」となりました。豊臣秀吉とも縁が深く、秀吉は吉野山の花見に行くとき、この町に宿泊。その場所は「茶屋敷敷」として現在も残されていますし、また信長や秀吉の朱印状が稱念寺に伝わっています。後に道場から稱念寺となり、またしばらくして武士の身分を返上しています。

―ご本堂の解体修理が令和4年（2022）に完了しましたが。

基本的に毎月第3木曜に公開日を設け、見学していただくようにしています。修理前は本堂西側の屋根が全部落ちてブルーシートをかけている状況でしたが、もつと古いお寺がある中で、平成14年（2002）に本堂が国の重要文化財に指定されたのは、実行への大きな力になりました。環濠集落であるこ



📍 榎原市今井町 3-2-29
MAP [P19](#) [D a-1](#)
☎ 0744-22-5509
📍 近鉄八木西口駅から徒歩約10分
<https://www.imaicyou-syounenji.com/>

と、戦国時代の町並みが残っていたこと、それが稱念寺の境内地であること。この全部が揃っている町は日本でただ一つ今井町だけであり、その中核である稱念寺というお寺の価値を認めていただけなのです。昭和時代に大きな道を通すなどの都市開発が検討されても、そのままの町並みを守ると決めてくれた先人たちがいてくれたおかげですね。稱念寺は、ずっと町とともにあるお寺です。これからも町の中で役割を果たしていきたい。誰もが気軽に訪ねてきてくださるお寺、小さな子どもたちもびのび過ごしてくれるような場所であれたらと思います。

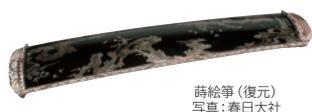


MAP A d-2

春日大社 国宝殿

秋季特別展 **神様の宝箱**
一植物・動物・昆虫が織りなすデザイン **国宝など**
9/14(日)～12/12(金)

春日大社の宝物に息づく生命のデザイン。本特別展では春日大社の宝物を通して、動物・植物や昆虫たちなど、生きとし生けるものによって表現される自然のすばらしさ、美しさをあらためて確認し、宝物のデザインとして選ばれた意図を探ります。



詩繪筆(復元)
写真:春日大社

所 奈良市春日野町160 ☎ 0742-22-7788
行 ●JR・近鉄奈良駅から春日大社本殿行きバス終点下車、徒歩すぐ
●JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「春日大社表参道」下車、徒歩約10分
HP <https://www.kasugataisha.or.jp/museum/>

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」

普段は拝観できない秘宝・秘仏の特別開帳を紹介

奈良大和路の「秘宝・秘仏特別開帳」の情報は、「祈りの回廊」公式ホームページでもご確認いただけます。
<http://inori.nara-kankou.or.jp/>



MAP A c-2

福智院

宝冠十一面観音菩薩立像
10/17(金)～10/23(木)、11/1(土)～11/7(金)

本尊・地藏菩薩坐像(鎌倉時代)は総高約7m。地藏大仏と呼ばれ、千仏光背を背負っています。宝冠を頭に載せた優美な十一面観音菩薩立像は、明治の廃仏毀釈の後、お迎えした客仏です。



宝冠十一面観音菩薩立像
写真:磯飛鳥園

所 奈良市福智院町46 ☎ 0742-22-1358
行 JR・近鉄奈良駅から天理駅・下山行きバス「福智院町」下車、徒歩すぐ

MAP A c-2

興福寺

東金堂 夜間拝観参拝 **国宝など**
10/25(土)、11/1(土)、8(土)、15(土)、22(土)
※午後5時30分～午後9時 受付終了は閉扉15分前

奈良市観光協会「秋夜の奈良旅2025」の一環として東金堂(国宝)が秋の夜間拝観を実施。本尊薬師如来像(重文)や、文殊菩薩像、維摩居士像、十二神将像、四天王像(いずれも国宝)などが拝観できます。



東金堂(国宝)
写真提供:奈良市観光協会

所 奈良市登大路町48 ☎ 0742-22-7755
行 ●JR奈良駅から市内循環バス「県庁前」下車、徒歩すぐ ●近鉄奈良駅から徒歩約5分
HP <https://www.kohfukuji.com/>

MAP A d-2

不空院

本尊・不空羂索観音菩薩坐像など **重文など**
10/17(金)、10/25(土)～11/10(月)

縁切り・縁結びで知られる古刹不空院では、本堂にて本尊・不空羂索観音菩薩坐像、2022年に落慶した鎮守堂では(秘仏)宇賀弁財天女坐像が特別公開されます。鎮守堂・内陣は花々の天井画で荘厳されています。



宇賀弁財天女坐像
写真:不空院

所 奈良市高畑町1365 ☎ 0742-26-2910
行 JR・近鉄奈良駅から市内循環バス「破石町(わりいしちょう)」下車、徒歩約10分
HP <https://www.fuku-in.com/>

MAP A c-2

元興寺

①板絵智光曼荼羅特別開扉 **重文**
10/25(土)～11/16(日)
②秋季特別展「民俗文化財を後世に―被災資料と(紙の仏)―」
10/25(土)～11/16(日)

秋季特別展では、元興寺文化財研究所が長年取組んできた民俗文化財の修復のなかから、被災資料と〈紙の仏〉の2つのテーマから民俗文化財を未来に伝えることの意味を考えます。



境内

所 奈良市中院町11 ☎ 0742-23-1377
行 ●近鉄奈良駅から徒歩約15分
●JR奈良駅から徒歩約20分
HP <https://gangoji-tera.or.jp/>

◆ 朝のお参り・朝の勤行 ◆

一般参拝いただける朝のお参りと朝の勤行をご紹介します。
※祭典や行事などで実施されない場合がありますので、事前に各社寺にお問合せ下さい。

春日大社 P4、12 **MAP A d-2** ☎ 0742-22-7788
◎朝のお参り(朝拜) 午前8時50分頃～
※春日大社公式ホームページで日程公開

興善寺 P13 **MAP A c-2** ☎ 0742-23-7007
◎朝の勤行 午前7時～ ※要予約

十輪院 **MAP A c-2** ☎ 0742-26-6635
◎朝の勤行 午前8時半～ 体験作務 午前8時～
※月曜休(祝日の場合は翌火曜)、予約不要

朝護孫子寺 P15 **MAP A b-2** ☎ 0745-72-2277
◎修行代(しゅぎょうだい)(修法と勤行)

極楽寺 **MAP A c-2** ☎ 0743-57-2231
◎朝のお勤め、朝茶の会(法話とお茶)
午前7時～8時 ※要予約

石上神宮 **MAP A a-1** ☎ 0743-62-0900
◎朝拜(ちやうはい) 午前8時半～

金峯山寺 P17 **MAP A c-2** ☎ 0746-32-8371
◎蔵王堂 朝座勤行(あさざこんぎょう)
※御開帳期間のみ有料

長谷寺 P17 **MAP A a-1** ☎ 0744-47-7001
◎朝の勤行 4月～9月 午前6時半～
10月～3月 午前7時～
※予約不要

MAP A d-1

五劫院

涅槃図・五劫思惟阿弥陀仏坐像 **重文**
2026.2/5(木)～2/15(日) 9時～15時(要予約)

南都焼討に遭った東大寺の再興に尽力した重源上人が宋から請来したと伝わる五劫思惟阿弥陀仏坐像は果てしなく長い時間を冥想されたお姿で、特に頭髮がアフロヘアのように個性的です。涅槃図とともに特別公開されます。



五劫思惟阿弥陀仏坐像(重文)
写真:五劫院

所 奈良市北御門町24 ☎ 0742-22-7694
行 JR・近鉄奈良駅から青山住宅、州見台(くのみだい)八丁目行きバス「今在家」下車、徒歩約8分

【東大寺 A d-1】①僧形八幡神坐像(国宝)《勧進所八幡殿》、五劫思惟阿弥陀如来坐像(重文)《勧進所阿弥陀堂》、公慶上人坐像(重文)《公慶堂》:10/5(日) ※転書会
②良弁僧正坐像(国宝)《開山堂》、執金剛神立像(国宝)《法華堂》、重源上人坐像(国宝)、阿弥陀如来立像(重文)、愛染明王坐像(重文)《俊乘堂》:
12/16(日) ※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2025年8月現在のものです)



だいあんじ 大安寺 MAP A b-2

①**本尊・十一面観音菩薩立像** **重文**
10/1(水)~11/30(日)

②**秘仏・馬頭観音菩薩立像** **重文**
2026.3/1(日)~3/31(火)

南都七大寺のひとつで、聖徳太子や空海とゆかりが深い古刹。本尊十一面観音は癩封じの仏様として広く信仰され、馬頭観音は災厄を除く観音様として信仰されています。

①十一面観音菩薩立像(重文) 写真: 榎飛鳥園

所 奈良市大安寺2-18-1 ☎ 0742-61-6312
行 ●JR・近鉄奈良駅からシャープ前、白土町(しらつちちょう)行きバス「大安寺」下車、徒歩約10分 ●JR奈良駅から徒歩約25分 <https://www.daijanji.or.jp/>



おびとけでら 帯解寺 MAP A d-1

①**秘仏・秘宝特別公開** **重文など**
11/8(土)~11/15(日)

②**令和8年春 秘仏公開** **重文など**
2026.3月初旬(日程未定)

本尊・帯解子安地藏菩薩は求子や安産に霊験あらたかで、全国から多くの祈願が寄せられます。本尊のほか、春日赤童子画像、虚空蔵菩薩坐像などが公開されます。

所 奈良市今市町734 ☎ 0742-61-3861
行 ●JR帯解駅から北へ徒歩約5分 ●近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車、西へ徒歩約10分
HP <https://obitokedera.or.jp/>



帯解子安地藏菩薩像(重文) 写真: 榎飛鳥園

ほっけじ 法華寺 MAP A b-1

椿 12月~3月 梅 2月中旬~3月

①**十一面観音菩薩立像** **国宝など**
10/25(土)~11/10(月)、2026.3/20(金)・(祝)~4/7(火)

②**絹本着色阿彌陀三尊および童子像(慈光殿)** **国宝など**
10/25(土)~11/10(月)

聖武天皇の後・光明皇后の発願で創建。特別開扉の本尊・十一面観音菩薩立像は光明皇后がモデルとも。秋季は平安時代作の浄土芸術の傑作も同時公開されます。

所 奈良市法華寺町882 ☎ 0742-33-2261
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://hokkejimonzeki.or.jp/>



阿彌陀三尊および童子像のうちの阿彌陀如来像(国宝) 写真: 榎飛鳥園

かいりゅうおうじ 海龍王寺 MAP A b-1

雪柳 3月中旬~4月中旬

①**十一面観音菩薩立像、寺宝展** **重文など**
10/25(土)~11/10(月)、2026.3/23(月)~4/7(火)(予定)

寺号は遣唐留学僧・玄昉が嵐の中『海龍王経』を唱え無事に帰国した故事が由来。遣唐使以来、現在も旅行や留学の安全が祈願されています。光明皇后が刻んだ像をもとにした本尊・十一面観音菩薩立像などを拝観できます。

所 奈良市法華寺町897 ☎ 0742-33-5765
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバスまたは近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「法華寺」下車、徒歩すぐ ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <https://kairyuuouji.jp/>



十一面観音菩薩立像(重文) 写真: 榎飛鳥園

しょうりやくじ 正暦寺 MAP A d-1

紅葉 11月中旬~12月上旬

①**秘仏・薬師如来倚像** **重文など**
11/3(月)・(祝)~11/14(金) ※福寿院にて、11/15(土)~12/7(日) ※本堂にて、12/22(月) ※瑠璃殿(収蔵庫にて)

992年(正暦3)、透き通る清流と秋の紅葉に彩られる「錦の里」に創建。特別公開される白鳳秘仏の本尊・薬師如来倚像は台座に腰を掛け、足を踏割蓮華に乗せている、珍しいお姿をしています。

所 奈良市菩提山町157 ☎ 0742-62-9569
行 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約25分 ●11月中旬~12月初旬はJR・近鉄奈良駅から臨時バス運行予定(詳細は奈良交通へお問合せください) ●JR・近鉄天理駅からタクシー約20分
HP <http://shoryakujiji.jp/>



薬師如来倚像(重文) 写真: 正暦寺

ふたいじ 不退寺 MAP A b-1

紅葉 11月下旬~ 睡蓮 ~11月頃 椿 10月~4月

①**在原業平朝臣画像、寺宝特別展**
10/1(水)~11/30(日)、2026.3/1(日)~5/31(日)

六歌仙のひとり在原業平ゆかりの古刹で、正式名称は不退転法輪寺。本尊は業平自作とされる聖観音菩薩立像。在原業平朝臣画像や寺宝の公開時期は、紅葉や山茶花・椿・レンギョウなどが見頃です。

所 奈良市法蓮町517 ☎ 080-8943-1201
行 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅行き、航空自衛隊行きバス「一条高校前」下車、徒歩約5分 ●近鉄大和西大寺駅からJR・近鉄奈良駅行きバス「不退寺口」下車、徒歩約3分 ●近鉄新大宮駅から徒歩約15分
HP <http://www3.kcn.ne.jp/~futaiji/>



在原業平朝臣画像 写真: 永野鹿鳴荘

さいだいじ 西大寺 MAP A a-1

萩 9月下旬~10月上旬

①**愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開** **国宝** **重文など**
10/25(土)~11/15(土)、2026.1/15(水)~2/4(水)

称徳天皇の勅願によって創建された官大寺で南都七大寺の一つ。鎌倉時代に叡尊上人によって再興されました。愛染堂の秘仏本尊・愛染明王坐像の特別開扉、多数の寺宝を納める聚宝館が開館されます。

所 奈良市西大寺芝町1-1-5 ☎ 0742-45-4700
行 近鉄大和西大寺駅から徒歩約3分
HP <https://saidaiji.or.jp/>



愛染明王坐像(重文) 写真: 榎飛鳥園

こうにんじ 弘仁寺 MAP A d-1

①**秘仏本尊・虚空蔵菩薩像**
11/1(土)~11/30(日) (拝観は午後1時より)

②**唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財)**
11/1(土)~11/30(日) (拝観は午後1時より)

本尊は無限の智恵と慈悲を持つ虚空蔵菩薩。13歳の子に知恵を授けてもらう十三詣りが有名。奈良市指定文化財の香炉、数学の問題や解法を記した算額も必見。

所 奈良市虚空蔵町46 ☎ 0742-62-9303
行 ●JR・近鉄奈良駅から天理駅行き、下山行きバス「下山」下車乗換、米谷町行きコミュニティバス「高樋町」下車、徒歩約5分 ●JR・近鉄奈良駅からタクシー約30分
HP <http://www.kouninji.org/>



唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財) 写真: 奈良市教育委員会

【興善寺 A c-2】①観経曼陀羅拝観: 9/20(土)~9/26(金) ※要予約、2026.3/17(火)~3/23(日) ※要予約 ②涅槃図拝観: 2026.2/1(日)~2/15(日) ※要予約
【慈眼寺 A c-1】聖観世音菩薩: 2026.2/1(日) ※初午、3/9(月) ※二の午
【伝香寺 A c-2】本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納り品、筒井家関連書状: 2026.3/12(水)



喜光寺 MAP a-2

弁天堂神影 宇賀神（秘仏）特別開扉

2026.1/1(木)・(祝)～1/15(木)

行基菩薩が創建し、東大寺大仏殿のモデルとして建てられた本堂は「試みの大仏殿」と呼ばれます。宇賀神像は人頭蛇身という神秘的なお姿。福德を願って祈願する人に多くの霊験を賜るとされます。

所 奈良市菅原町508 ☎ 0742-45-4630
 行 ●近鉄尼ヶ辻駅から徒歩約10分 ●近鉄大和西大寺駅から徒歩約20分 ●JR・近鉄奈良駅から大和西大寺駅南口行きバス「菅原東」下車徒歩約6分
 HP https://kikouji.com/



宇賀神像 写真：喜光寺

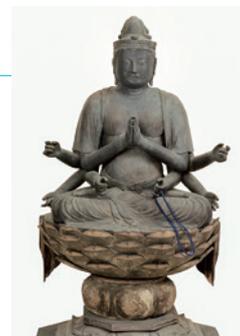
東鳴川観音講（応現寺） MAP a-2

不空羂索観音菩薩坐像 重文

毎月第一日曜日

奈良市と京都府の県境に接する東鳴川町に伝わる諸尊を守る観音講。不空羂索観音菩薩坐像は興福寺南円堂が焼失する以前の本尊を模したとされる平安後期の貴重な仏像です。

所 奈良市東鳴川町31 応現寺
 ☎ 0742-34-5369(奈良市教育委員会文化財課)
 行 JR・近鉄奈良駅から下狹川または広岡行きバス「東鳴川」下車、徒歩約5分
 HP https://www.city.nara.lg.jp/site/bunkazai/10591.html



不空羂索観音菩薩坐像(重文) 写真：奈良市教育委員会

薬師寺 MAP a-2

三大壁画特別公開、国宝東塔・西塔特別開扉 国宝など

9月中旬～10月中旬

10/25(土)～11/9(日)

②吉祥天女画像特別公開（国宝・平成本吉祥天） 国宝

2026.1/1(木)・(祝)～1/3(日) [国宝]、1/4(日)～1/15(木) [平成本吉祥天]

薬師寺では三大壁画特別公開として玄奘三蔵院伽藍の「大唐西域壁画」、食堂の「阿弥陀三尊浄土図」、「仏教伝来の道と薬師寺」、慈恩殿の大障壁画「東と西の融合」を公開。同時に東塔(国宝)西塔が特別開扉されます(塔の中にはお入りできません)。10月25日には秋夜の特別拝観。2026年1月には奈良時代作の国宝「吉祥天女画像」と平成本吉祥天が順次公開されます。



① 大唐西域壁画 写真：薬師寺

東塔(国宝) 写真：薬師寺

所 奈良市西ノ京町457 ☎ 0742-33-6001
 行 ●近鉄西ノ京駅から徒歩すぐ ●JR・近鉄奈良駅から奈良県総合医療センター行きバス「薬師寺」下車、徒歩すぐ
 HP https://www.yakushiji.or.jp/



① 東塔(国宝) 写真：薬師寺



② 吉祥天女画像(国宝) 写真：薬師寺

浄瑠璃寺 MAP a-2

秘仏・吉祥天女立像 重文

10/1(木)～11/30(日)、2026.1/1(木)・(祝)～1/15(木)

②三重塔初層開扉・薬師如来坐像 重文

2026.1/8(木)～1/10(土)

平安時代の浄土式庭園と九体阿弥陀如来坐像を安置する本堂(国宝)を持つ名刹。厨子入りの吉祥天女立像や三重塔(国宝)初層内陣の薬師如来坐像が公開されます。

所 京都府木津川市加茂町西小札場40 ☎ 0774-76-2390
 行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「浄瑠璃寺前(浄瑠璃寺)」下車、徒歩約3分(10/11(日)～12/7(日)の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)



① 吉祥天女立像(重文) 写真：嵯峨鳥園

岩船寺 MAP a-2

秘宝秘仏特別公開

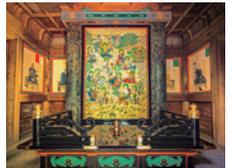
10/1(木)～11/30(日)

③秘仏特別公開

2026.1/1(木)・(祝)～1/15(木)

秋の特別公開では、秘仏・如意輪観音、弁財天、羅刹天、秘宝・両界曼荼羅、岩船寺縁起などに加え、三重塔初層の色彩やかな壁画も公開。秘仏は1月にも特別公開されます。

所 京都府木津川市加茂町岩船上ノ門43 ☎ 0774-76-3390 HP https://gansenji.or.jp/
 行 JR加茂駅から加茂山の家行きバス「岩船寺」下車、徒歩すぐ(10/11(日)～12/7(日)の土、日、祝のみJR・近鉄奈良駅からのバス有り)



② 三重塔初層内部(重文) 写真：岩船寺

現光寺 MAP a-1

本尊・十一面観音坐像 重文

11/1(土)～11/2(日)

現光寺の収蔵庫に安置される本尊・木造十一面観音坐像(重文)は、慶派の仏師作と推定される全国にも数枚という珍しい坐像のお姿です。鎌倉時代の四天王像も特別公開されます。

所 京都府木津川市加茂町北山ノ上9 ☎ 0774-76-2256
 行 (海住山寺までお問い合わせください)
 行 JR加茂駅東口から徒歩約15分、お寺付近は道幅狭小・境内に駐車場はありません



十一面観音坐像(重文) 写真：嵯峨鳥園

海住山寺 MAP a-1

五重塔特別開扉 国宝など

10/25(土)～11/3(月)・(祝)

②寺宝特別公開 重文など

10/25(土)～11/30(日)

735年創建と伝わり、鎌倉時代に解脫上人貞慶により中興された名刹。国宝・五重塔の内陣は華麗に彩色された厨子風造りで、扉絵は必見。四天王立像や多くの絵画などの文化財も公開されます。

所 京都府木津川市加茂町例幣海住山20 ☎ 0774-76-2256
 行 ●JR加茂駅西口から奥畑行きバス「海住山寺口」下車、徒歩約20分(※バスは平日のみ運行) ●JR加茂駅西口から和束町原山行きバス「岡崎(加茂)」下車、徒歩約30分 ●JR加茂駅からタクシー約10分
 HP http://www.kaijyusenji.jp/



① 五重塔 内部(国宝) 写真：嵯峨鳥園

【唐招提寺 MAP a-2】金亀舎利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》：10/21(火)～10/23(木)

お出かけの際は事前に最新情報をご確認ください。拝観料その他詳細は各社寺にお問い合わせください。(掲載内容は2025年8月現在のものです)



大和郡山・斑鳩・信貴・田原本
地図参照P・19

MAP C c-1

ほうりゅうじ 法隆寺

ゆめどのひぶつ くせかんのんぼさつりゅうぞう
①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像 **国宝**
 10/22(水)～11/22(土)

かみのみどう しやくさんぞんどう
②上御堂(釈迦三尊像) **国宝など**
 11/1(土)～11/3(月)・(祝)

現存する世界最古の木造建築物群を有し、日本ではじめて世界遺産に登録された寺院。夢殿では救世観音菩薩立像を開扉。上御堂の釈迦三尊像なども期間限定で拝観できます。

所 生駒郡斑鳩町法隆寺山内1-1 ☎ 0745-75-2555
 行 ●JR法隆寺駅から法隆寺参道行きバス終点下車、徒歩すぐ
 ●近鉄筒井駅から王寺駅行きバス「法隆寺前」下車、徒歩すぐ
 HP <https://www.horyuji.or.jp/>



①夢殿本尊・観音菩薩立像
 【救世観音】(国宝)
 写真: 榎飛鳥園

MAP C c-1

まつおでら 松尾寺

とねりとしのいるせかい (世界のトルソー、とねりしんのうぞう、
 ①舎人と太子のいる世界 舎人親王像、
 ～12/21(日) 聖徳太子像他)

ひぶつほんぞん やくよげかんのん
②秘仏本尊・厄除観音 (厄除千手千眼観世音菩薩立像)
 11/3(月)・(祝)

日本書紀を編纂した舎人親王が開基したと伝わる日本最古の厄除霊場。世界のトルソー、日本唯一の舎人親王像など寺宝を公開。秘仏本尊は年に一日だけの公開となります。

所 大和郡山市山田町683 ☎ 0743-53-5023
 行 ●JR大和小泉駅(東口)から近鉄郡山駅行きバス、または近鉄郡山駅から大和小泉駅東口行きバス「松尾寺口」下車、徒歩約60分 ●JR大和小泉駅から徒歩約90分
 HP <https://matsuodera.com/>



①世界のトルソー
 写真: 大和松尾寺

MAP C d-2

あんようじ 安養寺

あみだじょうりゅうぞう
阿弥陀如来立像 **重文**
 9/20(土)～9/28(日)、2026.3/14(土)～3/22(日)

江戸時代初期に創建。特別公開される阿弥陀如来立像(重文)は鎌倉時代の仏師・快慶の作品といわれます。ふくよかな容姿や流麗な衣文線(えもんせん)など快慶仏ならではの特色と技法をじっくり拝観できます。毎月25日14:00～写経会も行われています。

所 磯城郡田原本町八尾40
 行 近鉄田原本駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
 HP <https://anyouji.jp/>
 開帳時間等詳細、お問い合わせは安養寺HPをご確認ください



阿弥陀如来立像(重文)
 写真: 田原本町教育委員会

MAP C b-2

ちようごそんしじ 朝護孫子寺

紅葉 11月上旬～12月上旬

しぎさんえんぎ えまきとくべつこうかい なかひぶつびしゃもんでんのうぞうこういしょう
①信貴山縁起絵巻特別公開 **②中秘仏毘沙門天王像御開帳**
 「尼公の巻」 **国宝** 2026.1/1(木)・(祝)～1/12(月)・(祝)
 10/25(土)～11/9(日) 2/1(日)～2/28(土)

国宝の信貴山縁起絵巻は全3巻のうち「尼公の巻」が霊宝館で、また10/19(日)は「毘沙門天王二十八使者守護善神練り行列」、11/3(月)・(祝)は「柴灯護摩供火渡り」が開催。毘沙門天王は「お前立ち」の後ろに秘された「中秘仏」が公開。

所 生駒郡平群町信貴山2280-1 ☎ 0745-72-2277(本坊)
 行 JR・近鉄王寺駅または近鉄信貴山下駅から信貴山門行きバス「信貴大橋」下車、徒歩約5分
 HP <https://www.sigisan.or.jp/>

※開帳時間は9時～16時になります
 ※御祈禱中はお待ちいただくこととなります
 ※1/1～1/3は祈禱者のみの拝尊。一般の方の拝尊は不可



①信貴山縁起絵巻(尼公の巻、部分)
 (国宝) 写真: 朝護孫子寺

多武峯・檀原・明日香
地図参照P・19

MAP D a-1

かんのん パラ 10月中旬～11月下旬

ひほう いにきんぎょう ①秘宝・生き人形 ②寺宝・三千仏弥勒菩薩掛け軸
 10/19(日)～11/30(日) ～12/31(水)

秋のバラまつりと同期間、本堂内で天才人形師・安本亀八作の生き人形が公開されます。「生き人形」とは精緻な技巧で徹底的に本物に似せた人形のこと。今年は本堂で20年ぶりに寺宝「三千仏弥勒菩薩掛け軸」を特別公開しております。

所 橿原市小房町6-22 ☎ 0744-22-2212
 行 ●近鉄大和八木駅から下市口駅行き、近鉄御所駅行きバス「小房(おふさ)」下車、徒歩約5分
 ●近鉄大和八木駅から徒歩約25分またはタクシーで約10分 ●JR畷傍駅から徒歩約10分
 HP <https://www.ofusa.jp/>



バラまつり 写真: おふさ観音

MAP D b-1

しょうりんじ 聖林寺

南天・千両・万両 11月～2月

ひほう ①秘宝・マンダラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天
 11/1(土)～11/30(日) 2026.1/1(木)・(祝)～1/3(土)

両界曼荼羅や観音浄土補陀落山図など、秘宝のマンダラ(仏画)が約15点公開。正月三が日は秘仏も開扉されます。国宝の十一面観音は、改築された新しい御堂で360度から拝観できます。

所 桜井市下692 ☎ 0744-43-0005
 行 ●JR・近鉄桜井駅から談山神社行きバス「聖林寺」下車、徒歩約3分
 ●JR・近鉄桜井駅からタクシー約10分
 HP <https://www.shorinji-temple.jp/>



①當麻曼荼羅 写真: 聖林寺

MAP D a-2

たちばなでら 橘寺

しょうぞうでん ①聖倉殿(収蔵庫)特別公開 **重文など**
 10/18(土)～11/3(月)・(祝)

聖徳太子生誕の地といわれ、太子建立の7カ寺の一つ。本堂の太子殿には、聖徳太子35歳の像(重文)が安置されています。聖倉殿にて伝・日羅立像(重文)や絹本著色太子絵伝が特別公開されます。往生院では、260点にもおよぶ華の天井画が拝観できます。

所 高市郡明日香村橘532 ☎ 0744-54-2026
 行 近鉄飛鳥駅または近鉄檀原神宮前駅から明日香周遊バス「岡橋本」または「川原」下車、いずれも徒歩約3分
 HP <https://tachibanadera-asuka.jimdofree.com/>



伝・日羅立像(重文)
 写真: 榎飛鳥園

MAP D a-2

つばさかでら 壺阪寺(南法華寺)

紅葉(もみじ回廊10/11～12/7まで開催) 11月中旬～12月上旬(ライトアップ夜間拝観 11月下旬予定)

かんのんおほ ①観音大めがねくぐり ③三重塔・多宝塔初層同時開扉
 10/11(土)～12/7(日) 10/11(土)～12/7(日)

つばさかかんのん みぬぐ とくべつけんえんさんばい
②壺阪観音お身拭い・特別結縁参拝
 10/11(土)～12/7(日)

眼病封じの古刹。大観音石像サイズの大めがねくぐり、浄布で本尊・十一面千手観音菩薩像に触れるお身拭い参拝、重文・三重塔と多宝塔の開扉が行われます。

所 高市郡高取町壺阪3 ☎ 0744-52-2016
 行 近鉄壺阪山駅から壺阪寺前行きバス終点下車、徒歩すぐ
 HP <https://www.tsubosaka1300.or.jp/>



本尊・十一面千手観音菩薩坐像
 (撮影: 藤井金治)

【吉田寺 C c-2】多宝塔(重文)開扉秘仏大日如来坐像公開: 11/1(土)～11/3(月)・(祝)
 【法輪寺 C c-1】秋季特別展 三重塔再建五十周年記念特別展: 11/1(土)～11/7(金)
 【慈光院 C c-1】本堂天井鳴き龍: 2026.1/1(木)・(祝)～1/3(土)



あべもんじゆいん **コスモス迷路** **MAP 目 a-2**
安倍文殊院 9月中旬～10月下旬

きんかくうきみ どうれいほうかん しほうてん
金閣浮御堂霊宝館 寺宝展 **国宝など**
 秋：9/1(月)～11/30(日)、冬：12/1(月)～2026.2/28(日)

本尊の文殊菩薩(国宝)は仏師・快慶作で日本三文殊の1つです。霊宝館では安倍仲麻呂、安倍晴明の御尊像など陰陽道に関する宝物が公開されています。

所 桜井市阿部645 ☎ 0744-43-0002
 行 ●JR・近鉄桜井駅から桜井市コミュニティバスまたは石舞台行きバス「安倍文殊院」下車、徒歩すぐ●JR・近鉄桜井駅から徒歩約20分またはタクシー約5分
 HP <https://www.abemonjuin.or.jp/>



本堂 写真：安倍文殊院

おかでら **紅葉** (もみじ回廊10/11～12/7まで開催) **MAP 目 b-2**
岡寺 11月中旬～12月中旬 11/22、23、24、28、29、30(ライトアップ夜間拝観)

ほんどうないないじん とびらとくべつかいひ
①本堂内々陣お扉特別開扉 **重文**
 10/11(土)～11/30(日)

さんじゆほうとうしよそうへきがとびらえとくべつこうかい
②三重宝塔初層壁画扉絵特別公開
 10/19(日)

西国第7番札所の厄除け霊場。高さ4.85mの本尊・如意輪観音坐像は日本最大の塑像。迫力ある全身を拝観できます。三重宝塔は開山忌のみの公開です。

所 高市郡明日香村岡806 ☎ 0744-54-2007
 行 近鉄飛鳥駅または近鉄橿原神宮前駅から明日香周遊バス「岡寺前」下車、徒歩約10分
 HP <https://www.okadera3307.com/>



①塑造 如意輪観音坐像(重文) 写真：岡寺

D 多武峯・橿原・明日香 地図参照P・19

ほうざんじ **MAP 目 a-2**
寶山寺

ししかく **獅子閣** **重文**
 10/11(土)～10/13(月)・(祝)

本堂本尊・不動明王像に加え、聖天堂に大聖歓喜天が祀られ、「生駒の聖天さん」として、信仰を集めています。獅子閣は明治17年落慶の洋風客殿。木製螺旋階段や色ガラス入りの扉・窓、2階ベランダ、細部に凝った造作は必見です。

所 生駒市門前町1-1 ☎ 0743-73-2006
 行 近鉄生駒駅からケーブル「宝山寺」下車、徒歩約10分
 HP <https://www.hozanji.com/>



獅子閣内部(重文) 写真：飛鳥園

ちやうがくじ **紅葉** 11月～12月 **椿** 1月～3月 **MAP 目 a-1**
長岳寺

だいじごくえかいちやう
大地獄絵開帳
 10/23(木)～11/30(日)

全国紅葉100選の紅葉に境内が染まる時期、三悪道や修羅道の世界を描いた大地獄絵(狩野山楽筆)を公開。土日祝の13時頃は住職による絵解きも開催。(平日は要問い合せ)全9幅・総幅11mの迫力に触れると、日々の心と行いを省みたくくなります。

所 天理市柳本町508 ☎ 0743-66-1051
 行 ●JR・近鉄天理駅から桜井駅北口行きバス「長岡(かみなんか)」下車、徒歩約10分
 ●JR柳本駅から徒歩約20分
 HP <https://www.chogakuji.or.jp/>



大地獄絵・大熱地獄【部分】 写真：長岳寺

E 山の辺の道・桜井 地図参照P・19

たいまでら なかのぼう **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **MAP 目 a-1**
當麻寺 中之坊

むらかみゆうじしよへきが りゆうゆうず ぜん めんこうかい
①村上裕二障壁画「龍游図」全33面公開
 11/16(日)～11/30(日)

みちび かのん へいあんじだいじゆうようびじつひん
②導き観音(平安時代・重要美術品)
 毎月16日 13時30分～14時受付 ※新観会参加者のみ

しんしゆんふくほうてん りんけんひつ べんざいてんじゆうこうどうじ かいちやう
③新春福宝展：琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳
 2026.1/1(木)・(祝)～2/3(火)

2025年2月に17面で公開された日本画家・村上裕二画伯による大障壁画「龍游図」に、新たに龍の爪や雷鳴など襖8枚16面が加えられ、総数33面として特別公開されます。三輪山と二上山の間に巨大な龍の遊(およ)ぐさまが3部屋にわたって豪快に描かれた大作となっています。新春福宝展では、南都絵師琳賢が描いた「弁財天十五童子図」と福々しい「布袋尊百童子屏風」が公開されます。

りやうせんじ **バラ** 10月～11月 **MAP 目 b-2**
靈山寺

やくしさんぞんぞう あきばら ひおつほうもつてん
①薬師三尊像、秋薔薇と秘仏宝物展 **重文**
 10/23(木)～11/9(日)、2026.1/1(木)・(祝)～1/3(土) ※正月は薬師三尊像のみ

さんじゆほうとうしよそうとくべつかいひ
②三重塔初層特別開扉 **重文**
 11/3(月)・(祝)

聖武天皇の勅願で行基が建立した古刹。1200坪あるバラ園の秋咲きにあわせて薬師三尊像や秘仏を公開。一日だけ公開の三重塔初層・極彩色壁画も見逃せません。

所 奈良市中町3879 ☎ 0742-45-0081
 行 ●近鉄富雄駅から若草台行きバス「靈山寺」下車、徒歩約1分 ●近鉄富雄駅から徒歩約30分またはタクシー約8分
 HP <https://www.ryosenji.jp/>



①十一面観音菩薩立像(重文) 写真：(株)飛鳥園

F 富雄・生駒 地図参照P・20

たいまでら さいないん **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **MAP 目 a-1**
當麻寺 西南院

さいないんほんどうとくべつかいちやう
西南院本堂特別開帳 **重文など**
 11/22(土)～11/30(日)

国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟(すいきんくつ)や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2202
 行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
 HP <https://www.taimadera.or.jp/>



●布袋尊百童子屏風 写真：當麻寺 中之坊 ●弁財天十五童子図 写真：當麻寺 中之坊

たいまでら さいないん **紅葉** 11月下旬～12月上旬 **MAP 目 a-1**
當麻寺 西南院

さいないんほんどうとくべつかいちやう
西南院本堂特別開帳 **重文など**
 11/22(土)～11/30(日)

国宝・西塔を借景とする庭園が見事で、水琴窟(すいきんくつ)や美しい紅葉でも知られます。その本堂で万病消滅・富貴自在の仏様である本尊・十一面観音菩薩、聖観音菩薩、千手観音菩薩などが特別公開されます。

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2202
 行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分
 HP <https://taimadera-sainain.or.jp/>



三観音(重文) 写真：當麻寺 西南院

G 葛城 地図参照P・20



葛城

地図参照P・20

せっこうじ 寒牡丹 12月上旬～1月中旬 MAP G a-1

石光寺

みろくにょらいひぶつ もくぞう にほんさいこ せきぶつかいちやう

弥勒如来秘仏(木造)、日本最古の石仏開帳

2026.11/1(木)・(祝)～1/31(土) ※1日は正午から

當麻曼陀羅を織った中将姫ゆかりの「染の井」「糸掛桜」が現存する寺院。寒牡丹や春牡丹、シャクヤクなどの花が四季を彩る境内で弥勒堂が開扉され、白鳳弥勒石仏と秘仏弥勒如来が開帳されます。



彌勒如来石仏 写真：石光寺

所 葛城市染野387 ☎ 0745-48-2031

行 ●近鉄二上神社口(にじょうじんじやくち)駅から徒歩約13分 ●近鉄當麻寺駅から徒歩約20分

HP <https://sekkouji.or.jp/>

たいま であら おくのいん 紅葉 11月下旬～12月上旬 寒牡丹 12月中旬～1月 MAP G a-1

當麻寺 奥院

つづれおり たいま さんだら へいせいほんとくべつこうかい ほんぞん ほうわんしやうにんざやう

①織綴 當麻曼陀羅 平成本特別公開 11/1(土)～11/15(日)

②大方丈襖絵特別公開 11/16(日)～11/30(日)

③本尊・法然上人坐像 2026.2/24(火) 重文など

浄土庭園が広がる奥院。中将姫が織ったとされる當麻曼陀羅を同じ手法で復元した當麻曼陀羅平成本や、上村淳之画伯の襖絵「花鳥浄土」などが特別公開されます。



①平成本・當麻曼陀羅(部分) 写真：當麻寺 奥院

所 葛城市當麻1263 ☎ 0745-48-2008

行 近鉄當麻寺駅から徒歩約15分

HP <http://www.taimadera.or.jp/>

吉野・五條

地図参照P・20

にょいりんじ 紅葉 10月下旬～11月下旬 MAP H c-2

如意輪寺

こだいごてんのう くれいでん

後醍醐天皇御靈殿

11/2(日)～11/18(火)

吉野に行宮を構えた(南朝)後醍醐天皇の勅願寺。御靈殿には後醍醐天皇御自作の木像、南朝歴代天皇の御尊牌(御位牌)が奉祀されています。後醍醐天皇ご生誕(11/2)にあわせて「菊まつり」も開催。



後醍醐天皇御自作の木像 写真：如意輪寺

所 吉野郡吉野町吉野山1024 ☎ 0746-32-3008

行 ●近鉄吉野駅からロープウェイ「吉野山」乗換、吉野大峯ケーブルバス「如意輪寺口」下車、徒歩約20分(※バス本数少ない) ●近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分

HP <https://nyoirinji.com/>

きんぶせんじ MAP H c-2

金峯山寺

にほんさいだい ひぶつほんぞんこんごうざうだいいんげん とくべつ かいちやう

日本最大 秘仏本尊金剛蔵王大権現 特別ご開帳 重文

10/24(金)～11/30(日)

世界遺産登録の本堂・蔵王堂(国宝)に安置されている日本最大秘仏・金剛蔵王大権現三尊が国宝仁王門修理動進のため特別にご開帳されます。修験道の開祖・役行者が感得したと伝わる権現仏で、像高約7m。三尊とも青く彩色された有難いお姿です。



秘仏金剛蔵王権現像【中等】(重文) 写真：金峯山寺

所 吉野郡吉野町吉野山2498 ☎ 0746-32-8371

行 近鉄吉野駅から徒歩約30分またはロープウェイ「吉野山」下車、徒歩約10分

HP <https://www.kinpusen.or.jp/>

えいさんじ 萩 紅葉 9月～10月上旬 11月中旬～12月上旬 MAP I a-2

榮山寺

ほんぞん やくしにょらいざやう

①本尊・薬師如来坐像 重文

はっかくえんどうないないじんぞうしよくが とくべつはいかん

②八角円堂内陣装飾画特別拝観 国宝など

①②10/25(土)～11/30(日)

藤原不比等の長男・武智麻呂が創建。内陣に天平時代の極彩色壁画が残る国宝・八角円堂は、法隆寺夢殿と並ぶ貴重な天平建築として優美な姿を見せてくれます。



①本尊・薬師如来坐像(重文) 写真：榮山寺

所 五條市小島町503 ☎ 0747-24-5557

行 ●JR五條駅から八木駅(南)行きバス「榮山寺口」下車、徒歩約10分(※バス本数少ない) ●JR五條駅から徒歩約25分またはタクシー約5分

HP <https://www.eisanji.com/>

さくらもとぼう MAP I c-2

櫻本坊

てんむてんのう こしんぞう とくべつ かいちやう

天武天皇御神像 特別ご開帳

11/8(土)～11/16(日)

万葉の時代、天武天皇が建立。天武天皇・持統天皇の勅願寺。修験道根本道場。神仏習合の象徴ともいえる天武天皇の御神像が特別ご開帳。宝聚堂(宝物殿)も開扉され、地藏大菩薩坐像(重文)、蔵王権現鏡像(平安時代)などの寺宝が拝観できます。



構 写真：櫻本坊

所 吉野郡吉野町吉野山1269 ☎ 0746-32-5011

行 近鉄吉野駅から徒歩約40分またはタクシー約10分

HP <https://sakuramotobou.or.jp/>

長谷・室生

地図参照P・21

むろうじ 紅葉(もみじ回廊10/11～12/7まで開催) MAP I d-1

室生寺

こんどうとくべつはいかん

金堂特別拝観 国宝など

10/18(土)～12/7(日) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与

平安初期建立の国宝の金堂。通常拝観では立ち入ることのできない外陣にお入りいただきいつもより近い距離で国宝釈迦如来立像、重文薬師如来像、文殊菩薩像、十二神将をご拝観いただけます。期間中は、スマートフォン限定で堂内での撮影が可能です。



金堂(国宝) 写真：室生寺

所 宇陀市室生78 ☎ 0745-93-2003

行 近鉄室生口大野駅から室生寺行きバス終点下車、徒歩約5分

HP <https://www.murouji.or.jp/>

はせでら 紅葉(もみじ回廊10/11～12/7まで開催) 冬の牡丹 12月上旬～2月中旬 MAP I a-1

長谷寺

ほんぞんだいがんのん じやういちめんかん ぜおんぼさつりやうぞう とくべつはいかん

①本尊大観音(十一面観世音菩薩立像) 特別拝観 重文

10/4(土)～12/7(日)

②本坊大講堂特別拝観 重文など

10/18(土)～12/7(日)

日本最大級の木造仏、本尊・十一面観世音菩薩立像のお御足に触れてご縁を結ぶことができます。また重要文化財の本坊(大講堂)では、観音大画軸(複製)と、長谷寺縁起絵巻(複製)を特別展示。上記期間中は長谷寺鈴秋菊回廊も同時開催されます。



①本尊・十一面観世音菩薩立像(重文) 写真：長谷寺

所 桜井市初瀬731-1 ☎ 0744-47-7001

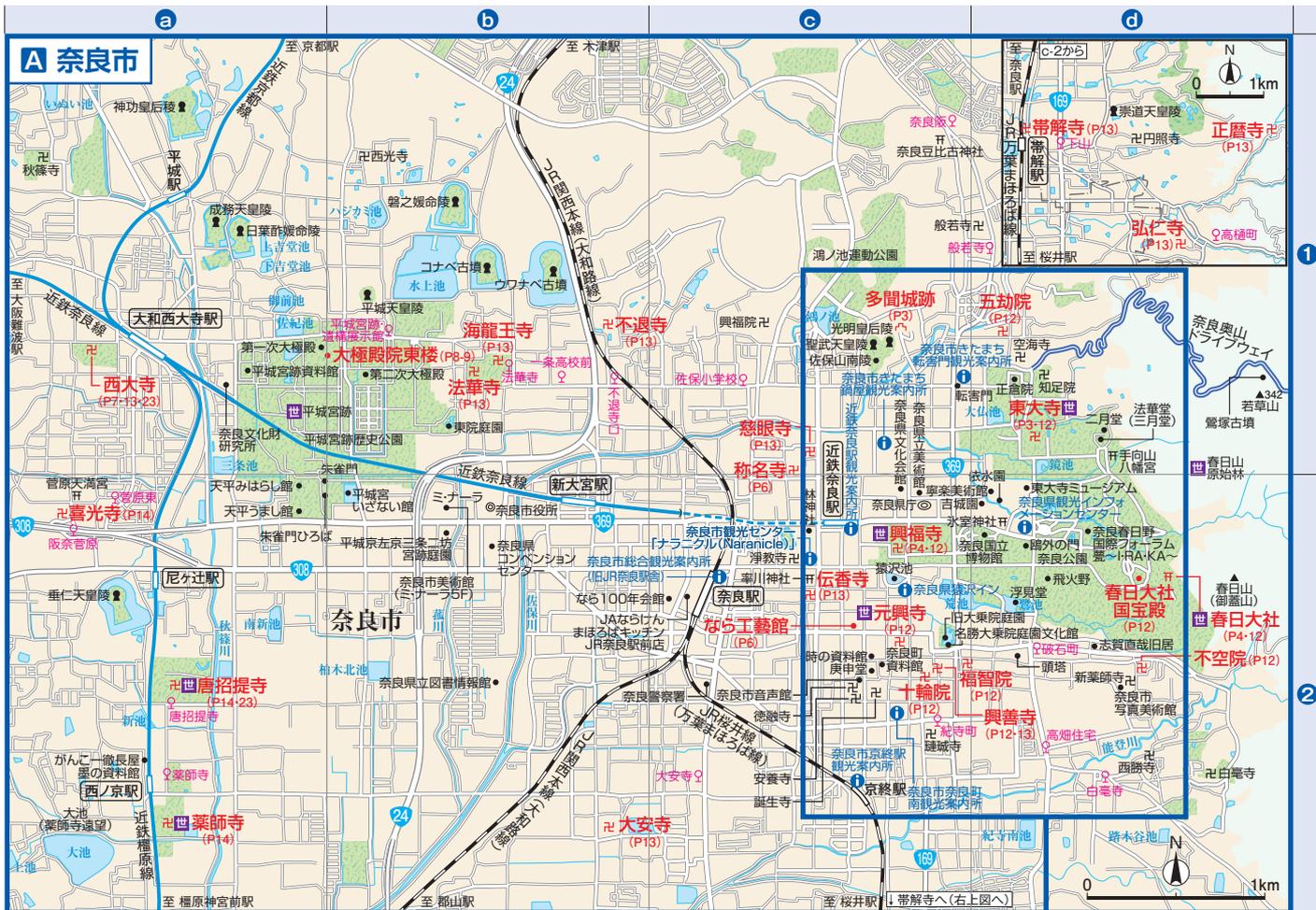
行 近鉄長谷寺駅から徒歩約15分

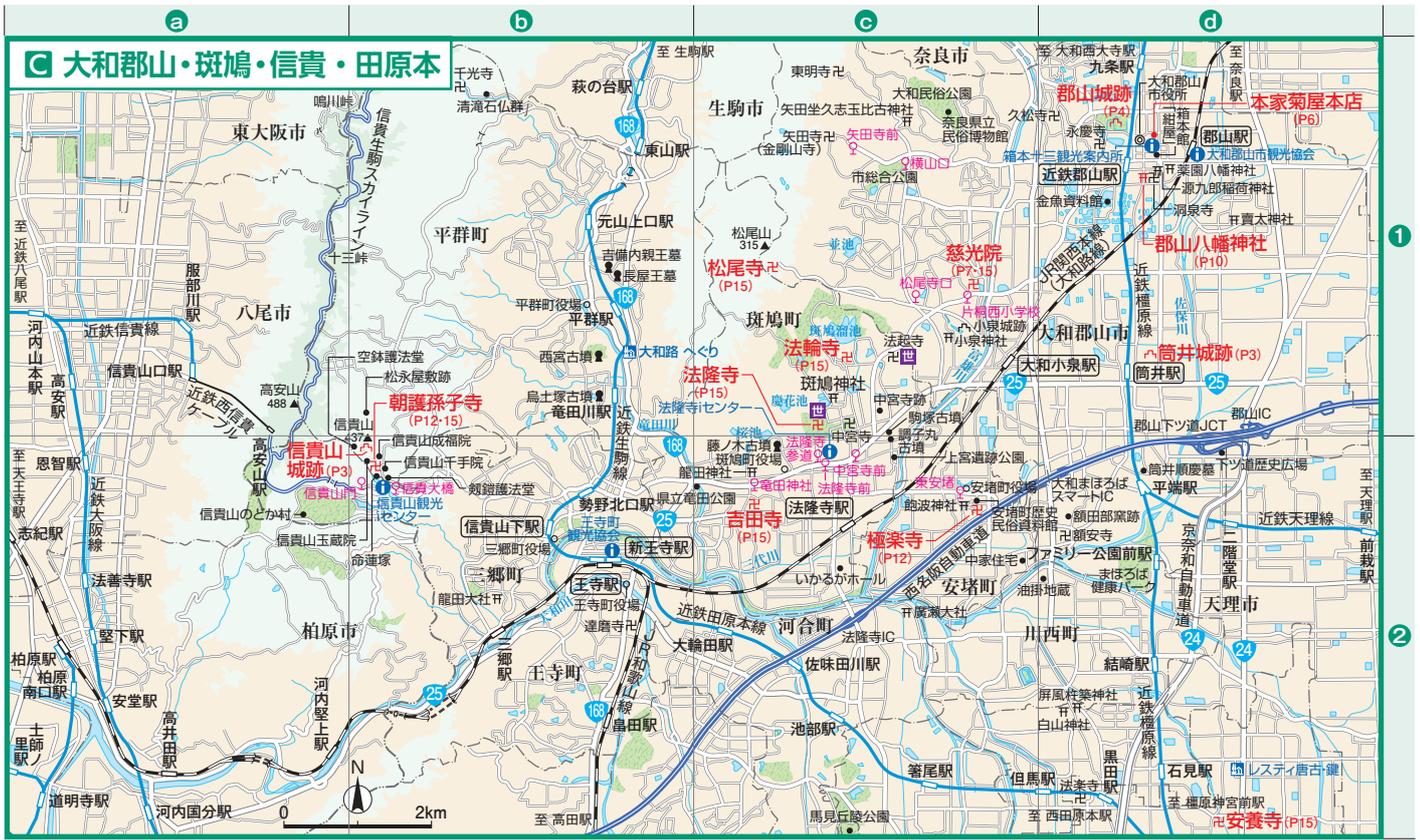
HP <https://www.hasedera.or.jp/>

【金剛寺 I a-2】星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊：2026.2/3(火) 【法起院 I a-1】長谷庚申 秘仏青面金剛像：10/18(土)～10/26(日)

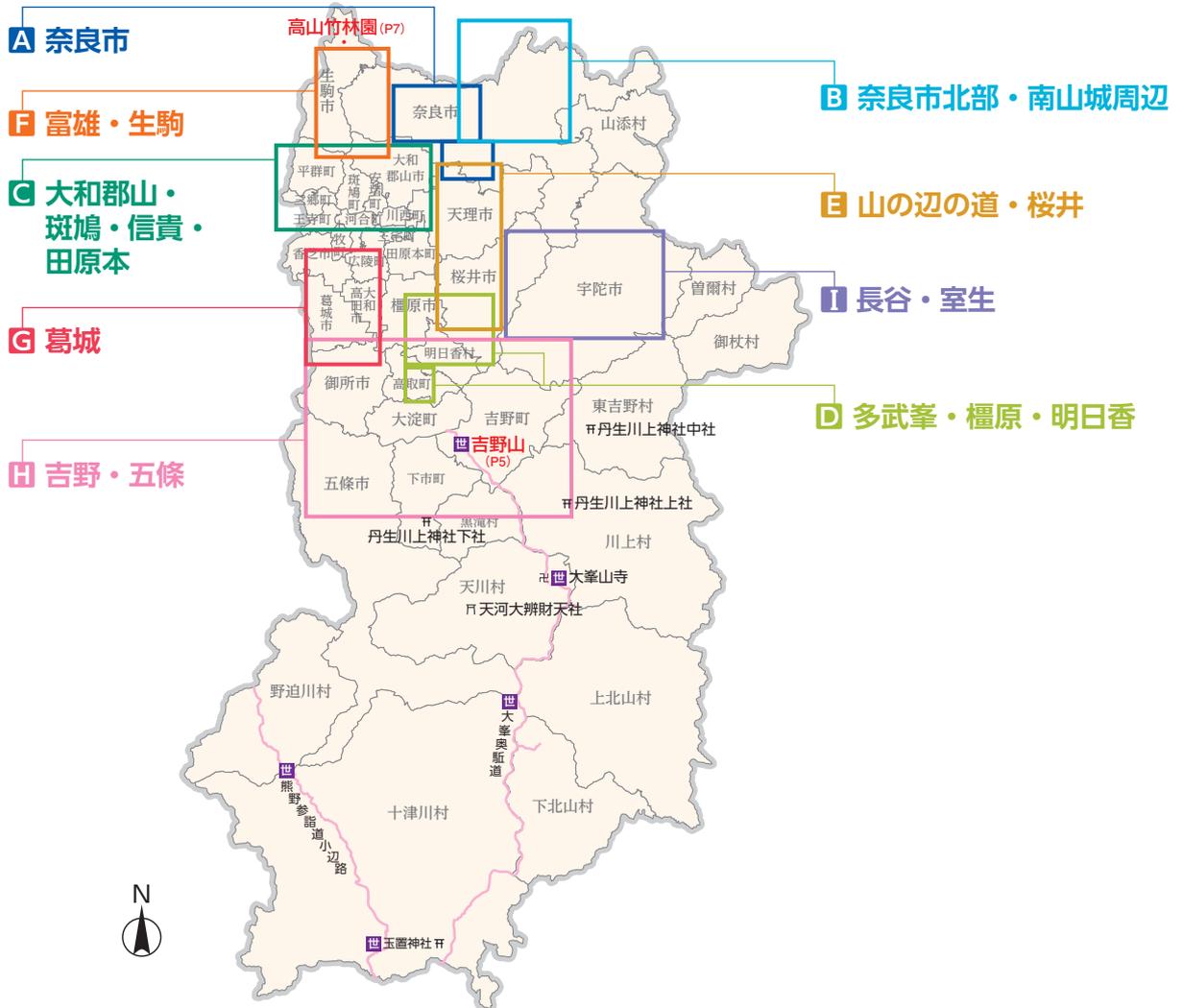
吉野山ロープウェイは、金・土・日・月曜日のみ運行(10/24(金)～11/30(日)は毎日運行)。火・水・木曜日は、ケーブル代行バスが運行。運行情報や時刻表は下記にお問い合わせ下さい。

園 吉野大峯ケーブル自動車線 ☎ 0746-39-0010









エリア	社寺名	掲載頁/地図	主な特別開帳内容	9月	10月	11月	12月	2026年1月	2月	3月	
A 奈良市	春日大社 国宝殿	P12 A d-2	秋季特別展 神様の宝箱 一植物・動物・昆虫が織りなすデザイン(国宝など)		9/14~12/12						
	興福寺	P12 A c-2	東金堂 夜間拝観参拝(国宝など)				10/25、11/1、8、15、22	※午後5時30分~午後9時			
	福智院	P12 A c-2	宝冠十一面観音菩薩立像	10/17~10/23		11/1~11/7					
	元興寺	P12 A c-2	①板絵智光曼荼羅特別開扉(重文) ②秋季特別展『民俗文化財を後世に 一被災資料と「紙の仏」一』				10/25~11/16				
	不空院	P12 A d-2	本尊・不空羂索観音菩薩坐像など(重文など)	10/17			10/25~11/10				
	五劫院	P12 A d-1	涅槃図・五劫思惟阿彌陀仏坐像(重文)				2/5~2/15	※9時~15時(要予約)			
	東大寺	P12 A d-1	①彫形八幡神坐像(勧進所八幡殿)、五劫思惟阿彌陀如来坐像(勧進所阿彌陀堂)、公農上人坐像(公農堂)(国宝など) ②良弁坐像(開山堂)、執金剛神立像(法華堂)、重原上人坐像、阿彌陀如来立像、愛染明王坐像(俊乗堂)(国宝など)		10/5	※観音会 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。					
	帯解寺	P13 A d-1	①秘仏・秘宝特別公開(重文など) ②令和8年春 秘仏公開(重文など)				12/16	※良弁忌 ※秘仏はいずれも法要終了後に特別開帳されます。		11/8~11/15	
	大安寺	P13 A b-2	①本尊・十一面観音菩薩立像(重文) ②秘仏・馬頭観音菩薩立像(重文)				10/1~11/30				
	海龍王寺	P13 A b-1	十一面観音菩薩立像、寺宝展(重文など)				10/25~11/10		3/1~3/31		
	法華寺	P13 A b-1	①十一面観音菩薩立像(国宝など) ②絹本着色阿彌陀三尊および童子像(慈光殿)(国宝など)				10/25~11/10		3/20~4/7		
	不退寺	P13 A b-1	在原業平朝臣画像、寺宝特別展		10/1~11/30				3/1~5/31		
	正暦寺	P13 A d-1	秘仏・薬師如来倚像(重文など)	11/3~11/14	※福寿院にて、11/15~12/7 ※本堂にて			12/22	※瑠璃殿(収蔵庫にて)		
	弘仁寺	P13 A d-1	①秘仏本尊・虚空蔵菩薩像 ②唐草文三足双耳香炉(奈良市指定文化財)					11/1~11/30	※拝観は午後1時より		
	西大寺	P13 A a-1	愛染明王坐像(愛染堂)、聚宝館特別公開(国宝)(重文など)				10/25~11/15		1/15~2/4		
	興善寺	P13 A c-2	①観経曼陀羅拜観 ②涅槃図拜観	9/20~9/26	※要予約				3/17~3/23	※要予約	
	慈眼寺	P13 A c-1	聖観世音菩薩				2/1~2/15	※要予約			
	伝香寺	P13 A c-2	本尊・釈迦如来坐像、南無仏太子像、地藏菩薩立像納入品、筒井家関連書状					2/1	※初午 3/9 ※二の午		
	葉師寺	P14 A a-2	①三大壁画特別公開、国宝東塔・西塔特別開扉(国宝など) ②吉祥天女画像特別公開(国宝・平成本吉祥天)(国宝)				10/25~11/9				
	喜光寺	P14 A a-2	弁天堂神影 宇賀神(秘仏)特別開扉	1/1~1/3	[国宝]、1/4~1/15 [平成本吉祥天]						
唐招提寺	P14 A a-2	金亀舍利塔(国宝)、釈迦如来立像(重文)など《礼堂》				10/21~10/23					
東漸(観音講(成現寺))	P14 B a-2	不空羂索観音菩薩坐像(重文)	毎月第一日曜日								
B 奈良市 北部・ 南山城 周辺	岩船寺	P14 B a-2	①秘宝秘仏特別公開 ②三重塔初層特別開扉(重文) ※雨天・荒天時は塔開扉中止の場合あり ③秘仏特別公開		10/1~11/30						
	浄瑠璃寺	P14 B a-2	①秘仏・吉祥天女立像(重文) ②三重塔初層開扉(国宝)・薬師如来坐像(重文) ※ただし好天の日に限る ③大日如来坐像など(灌頂堂)	毎月8日		10/25~11/3		1/1~1/15	1/1~1/3、1/8~1/10	1/8~1/10	
	海住山寺	P14 B a-1	①五重塔特別開扉(国宝など) ※荒天時は塔開扉中止の場合あり ②寺宝特別公開(重文など)			10/25~11/3					
	現光寺	P14 B a-1	本尊・十一面観音坐像(重文)			11/1~11/2		10/25~11/30			
	松尾寺	P15 C c-1	①舎人と太子のいる世界(世界のトルソー、舎人親王像、聖徳太子像他) ②秘仏本尊・厄除観音(厄除千手千眼観世音菩薩立像)			11/3				~12/21	
C 大和郡山 斑鳩 信貴 田原本	法隆寺	P15 C c-1	①夢殿秘仏・救世観音菩薩立像(国宝) ②上御堂(釈迦三尊像)(国宝など)			10/22~11/22					
	朝護孫子寺	P15 C b-2	①信貴山縁起絵巻特別公開「尼公の巻」(国宝) ②中秘仏思沙門天王像御開帳 ※御開帳中はお待ちいただくこととなります ※1/1~1/3は新儀者のみの拝観、一般の方の拝観は不可			10/25~11/9					
	安養寺	P15 C d-2	阿彌陀如来立像(重文)	9/20~9/28		11/1~11/12		2/1~2/28			
	吉田寺	P15 C c-2	多宝塔(重文) 開扉秘仏大日如来坐像公開			11/1~11/3					
	法輪寺	P15 C c-1	秋季特別展 三重塔再建五十周年記念特別展			11/1~11/7					
	慈光院	P15 C c-1	本堂天井鳴き籠					1/1~1/3			
	聖林寺	P15 D b-1	①秘宝・マンダラ展 ②秘仏・宝蔵天、秘仏・弁財天				11/1~11/30		1/1~1/3		
D 多武峯 橿原 明日香	おふさ観音	P15 D a-1	①秘宝・生き人形 ②寺宝・三千仏弥勒菩薩掛け軸		~12/31		10/19~11/30				
	壺阪寺 (南法華寺)	P15 D a-2	①観音大めがねくぐり ②壺阪観音お身拭い特別結縁参拝 ③三重塔・多宝塔初層同時開扉				10/11~12/7		10/11~12/7	10/11~12/7	
	橘寺	P15 D a-2	聖倉殿(収蔵庫)特別公開(重文など)			10/18~11/3					
	岡寺	P16 D b-2	①本堂内々陣お屏特別開扉(重文) ②三重塔初層壁画絵特別公開			10/19		10/11~11/30			
E 山の辺の道・桜井	安倍文殊院	P16 E a-2	金閣浮御堂霊宝館 寺宝展(国宝など)		秋:9/1~11/30、冬:12/1~2026.2/28						
	長岳寺	P16 E a-1	大地獄絵開帳	10/23~11/30							
	寶山寺	P16 E a-2	獅子閣(重文)		10/11~10/13						
F 富雄・生駒	靈山寺	P16 E b-2	①薬師三尊像、秋蕾薇と秘仏宝物展(重文) ②三重塔初層特別開扉(重文)	10/23~11/9		11/3		1/1~1/3	※正月は薬師三尊像のみ		
	當麻寺 西南院	P16 G a-1	西南院本堂特別開帳(重文など)				11/22~11/30				
G 葛城	當麻寺 中之坊	P16 G a-1	①村上裕三障壁画「龍游园」全33面公開 ②導き観音(平安時代・重要美術品) ※祈願会参加者のみ ③新春福宝展:琳賢筆「弁財天十五童子」ご開帳	毎月16日(13時30分~14時受付)			11/16~11/30				
	當麻寺 奥院	P17 G a-1	①綴織 當麻曼陀羅 平成本特別公開 ②大方丈襖絵特別公開 ③本尊・法然上人坐像(重文など)			11/1~11/15		11/16~11/30		2/24	
	石光寺	P17 G a-1	弥勒如来秘仏(木造)、日本最古の石仏開帳		1/1~1/31	※1日は正午から					
H 吉野 五條	金峯山寺	P17 H c-2	日本最大 秘仏本尊金剛藏王大権現 特別ご開帳(重文)				10/24~11/30				
	如意輪寺	P17 H c-2	後醍醐天皇御靈殿				11/2~11/18				
	櫻本坊	P17 H c-2	天武天皇御神像特別ご開帳				11/8~11/16				
	榮山寺	P17 H a-2	①本尊・薬師如来坐像(重文) ②八角円堂内陣装飾画特別拝観(国宝など)				10/25~11/30		10/25~11/30		
	金剛寺	P17 H a-2	星供曼荼羅、星祭り九曜星本尊						2/3		
I 長谷・室生	長谷寺	P17 I a-1	①本尊大観音(十一面観世音菩薩立像)特別拝観(重文) ②本坊大講堂特別拝観(重文など)				10/4~12/7		10/18~12/7		
	室生寺	P17 I d-1	金堂特別拝観(国宝など) ※期間中拝観された方には特別懐中御守護を授与				10/18~12/7				
	法起院	P17 I a-1	長谷庚申 秘仏青面金剛像		10/18~10/26						



うまし奈良めぐり

知らなかった奈良を遊ぶ！知る！体験旅

奈良の歴史ある社寺に伝わる秘宝・秘仏、通常は立ち入れない建物の拝観に加え、神職や僧侶のご案内で巡るプラン、伝統行事やグルメなど、普段では味わえない魅力満載の旅をご用意。ますます奈良が好きになる・・・。

他にも特別企画が盛りだくさん！

抽選で読者5名様にプレゼント

西大寺 (さいだいじ)

僧侶のご案内で諸堂拝観と非公開の愛染堂客殿で狩野派襖絵特別拝観

狩野派による襖絵のある非公開の客殿にて法話を拝聴していただけます。歌舞伎の二代目市川海老蔵を描いた江戸時代の大絵馬(非公開)も特別拝観。

開催日 10/25(土)、11/9(日)、11/28(金)、12/6(土)、12/22(月)、2026年2/1(日)、2/28(土)
14:00~(所要時間:約90分) 参加費 3,000円 最少催行人数 5名

MAP P18 A a-1 奈良市



板絵二代目市川海老蔵

唐招提寺 (とうしょうだいじ)

通常非公開の重要文化財「礼堂」を特別拝観

奈良時代建立の金堂や講堂などを僧侶のご案内で参拝していただけます。通常非公開の礼堂(重要文化財)も特別拝観。

開催日 12/3(木)、12/7(日)、2026年1/24(土)、1/25(日)、2/8(日)、2/25(木)、3/7(土)、3/8(日)(14:00のみ) 10:00~14:00~(所要時間:約60分)
参加費 大人:3,600円、高校生以下:2,500円 最少催行人数 5名

MAP P18 A a-2 奈良市



金堂

橿原神宮 (かしはらじんぐう)

心静かに御本殿近くの内拝殿で「月次祭」に参列

通常では入ることのできない御本殿間近で月次祭に参列し神楽舞を拝見。天皇陛下の御名代である勅使が参籠・潔斎する通常非公開の勅使館も拝観。

開催日 10/11(土)、10/21(木)、11/11(火)、2026年2/21(土)、3/1(日)、3/11(火)、3/21(土)
9:50~(所要時間:約110分) 参加費 3,500円 最少催行人数 3名

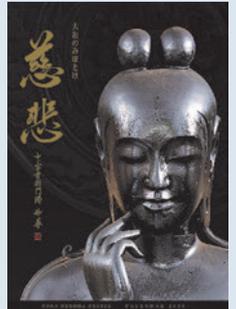
MAP P19 D a-1 橿原市



巫女による扇舞

奈良仏像カレンダー2026

奈良県の『祈りの歴史』を広く全国にご紹介するため、30作目となる奈良仏像カレンダー2026を10月1日より販売します。2026年版は『大和のみほとけ-慈悲-』と題し、深い愛情や思いやりを持って一年を過ごしてほしいという願いを込めて制作。特に今回は、奈良にゆかりのある歌人 會津八一没後70年ということもあり、八一が歌に詠んだお寺の仏像7体を選定しました。



WEBショップ、書店等で購入いただけます。詳しくは下記QRホームページをご覧ください。

こちらのカレンダーを「祈りの回廊」読者5名様にプレゼントいたします。「プレゼント企画応募」と明記の上、郵便番号・住所・氏名・電話番号を下記メールアドレス宛にお送りください。ご応募お待ちしております！
プレゼント企画応募先メールアドレス: calendar@nara-kankou.or.jp



ホームページ

お申し込み・お問い合わせ

ご参加には**事前にお申し込み**が必要です。

※最小催行人数に満たない場合、開催日の10日前までに中止する場合があります。
※開催日の4日前に受付を終了します。

お申し込みはWEBが便利です！

詳しくは、
<https://yamatoji.nara-kankou.or.jp/nara-umashi/>

うまし奈良めぐり実行委員会 (事務局:奈良県ビジターズビューロー)
TEL:0742-81-8680 9:00~17:00 (土日祝・年末年始除く)

特集関連企画
「戦国時代の奈良」
ポイントアップ/
キャンペーン

祈りの回廊オリジナルWEBアプリ DL不要

スマホで巡礼

2025年10月1日~2026年2月28日

「スマホで巡礼」は、本誌で紹介している神社仏閣への参拝や、観光スポットへの観光の記録を残すアプリです。1スポットにつき**10pt**が貯まり、通常50ptで1回のプレゼント応募(コットンサコッシュ)ができます！

2025年秋冬版は、特集「戦国時代の奈良」に連動した特別キャンペーンとして、上記期間「戦国時代の奈良(P2~5)」のみ、特別に**1スポットにつき30pt**が貯まります。

※対象スポット詳細はアプリ画面でご確認ください。当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。発送は3月下旬を予定しています。

50pt貯めて応募すると抽選でオリジナルコットンサコッシュを**プレゼント!**



本体サイズ:約330×250mm ※写真はイメージです

さらに!

特集連動キャンペーンで**150pt**まで貯めると、抽選でオリジナル遮光折りたたみ傘を**プレゼント!**



※写真はイメージです

ここから起動



起動後はブックマークに登録するか、ホーム画面に保存してご利用ください!

新規登録の流れ

アプリを起動する

左のQRコードから起動し「新規登録」をタップ!

ログインIDを登録

任意のメールアドレスとパスワードを設定します。自動送信メールが届きます。

メールで本人確認

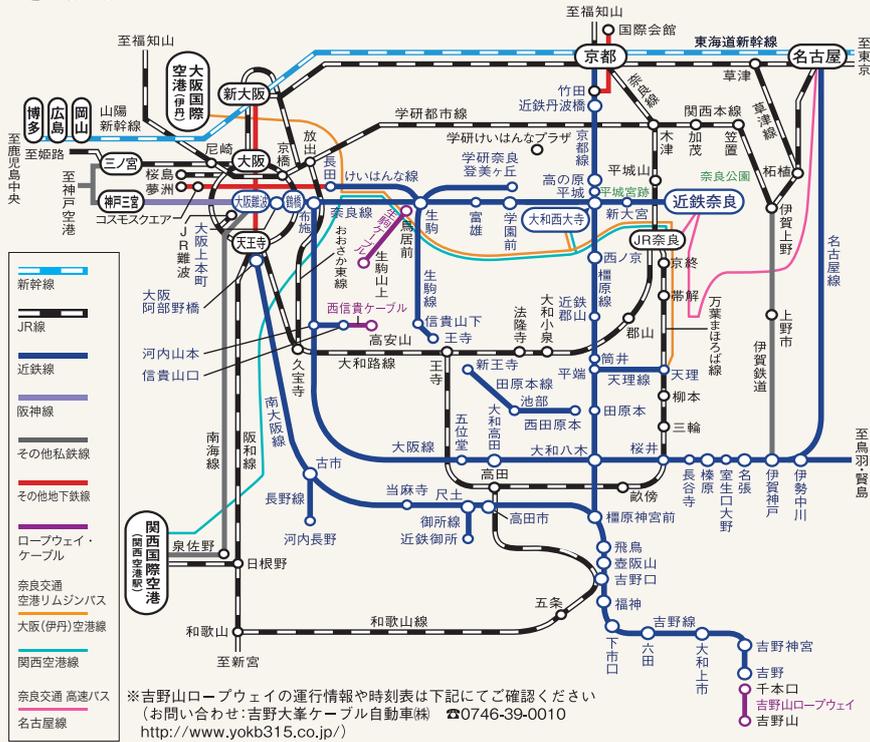
メールの本人確認URLをタップして完了。もう一度起動画面からログインして利用開始!

※自動送信メールを迷惑メールと認識する設定がされている場合、本人確認メールが迷惑メールと判断される場合があります。メールが届かない場合は、迷惑メールをご確認ください。

【このアプリは位置情報(GPS)機能を利用します。必ず位置情報取得機能をONにしてご利用ください】

周囲の環境や通信状況、端末の性能によって、動作が不安定または不可能な場合があります。また、登録社寺の立地によってはGPS電波が届かず、チェックインできない(アプリが起動しない)場合があります。電波が届かない社寺については、各社寺の案内面に明記しておりますので、社寺で配布しているプリントをお受け取りいただき、電波が届く場所(アプリ)を起動し、「チェックインする」をタップして、プリントのマーカー部にかざしていただくことでチェックインできます。本アプリケーションのご利用に際しては、周囲の状況に注意し、お客様が利用される地域に適用する法律・慣習を遵守した常識的で適正なご利用をお願い致します。本アプリケーションの使用に関してお客様自身または第三者に損害が生じた場合、奈良県はその賠償の責任を一切負いかねますことをご了承ください。 ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。推奨環境:iPhone iOS + Safari(ブラウザ)・Android OS + Chrome(ブラウザ)それぞれ最新バージョンでのご利用をお願いします。

奈良アクセスガイド



❖大和路秀麗❖

八十八面観音霊場の法話会

大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会は法華寺・西大寺・海龍王寺・大安寺・法輪寺・聖林寺・長谷寺・室生寺の八か寺の十一面観音菩薩を巡拝する霊場会です。令和7年秋の法話会を下記のとおり開催します。法話会にご参加いただき、十一面観音菩薩の慈悲の心を感じてください。(事前申込制、有料)



日時: 令和7年11月14日(金)
 午後2時より(受付は午後1時30分より)
講師: 奈良国立博物館名譽館員、東アジア仏教文化研究所代表 西山厚先生
場所: 法華寺
参加費: 2,500円(入山料含む)
定員: 40名(先着順)
申込方法: 往復はがきに①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④申込人数を明記の上、10月31日までに次の宛先までお申し込みください。
 宛先: 〒630-8001 奈良市法華寺町882
 法華寺「大和路秀麗八十八面観音霊場の法話会」係宛
 ※復路(返信はがき)にご自身の住所・宛名を記入漏れのないようお書きください。当選のお知らせは返信はがきにいたします。
 申込人数は、はがき1枚につき2人までとなります。
 お申し込みは**往復はがきのみ**とさせていただきます。

●JR 西日本

大阪から奈良へは特急「まほろば」で。

MAHORоба LIMITED EXPRESS RENEWAL

安寧 ANNEI 悠久 YUKYU

特急「まほろば」の詳しい情報はここから

●近鉄のおトクな情報

奈良へ行くなら

観光特急

あをによし

AONIYOSHI

奈良町のちょっとしたいいところを見て知る秋の一週間

期間: 令和7年11月3日(月)・祝~11月9日(日)
 場所: 奈良町一帯

奈良町の「きたまち」「ならまち」「高畑」「京終・紀寺」という個性豊かな4エリアで、歴史的建造物、社寺、生業に関する施設など、まちの魅力となっている「ちょっとしたいいところ」をピックアップし、普段見ることができないスポットの公開や少人数事前予約制の特別企画、まちあるきツアーなどを行います。詳しくは、奈良町見知りル町公式サイトをご覧ください。

問合せ先:
 奈良市観光戦略課奈良町にぎわい室
 (0742-34-5609 平日9時~17時)
 奈良町見知りル町実行委員会
 (イベント期間中のお問合せ先0742-26-3476 10時~17時)



見奈良町

奈良町見知りル×祈りの回廊コラボツアー とっておき奈良歩き

「奈良の不空羅索観音三仏めぐり(オリジナル案内BOOK付)」

年に一度、奈良市内の三つの不空羅索観音に参拝できる10月17日ならではのスペシャルな奈良歩きツアー。奈良町見知りル実行委員長・奈良市観光大使の倉橋みどりさんが、ご案内します。ツアー参加者全員に拝観する寺院の歴史や見どころ、特別エッセイを収録した「オリジナル案内BOOK」をプレゼント

日時: 2025年10月17日(金) 12時~17時

集合場所: 近鉄奈良駅行基前広場

当日の行程: 【集合】近鉄奈良駅行基前広場→興福寺南円堂=(バス)=破石町バス停→不空院→橿宜道

→東大寺法華堂→東大寺二月堂【解散】

参加費: 2,000円(拝観料及びバス代が別途必要)

※参考 興福寺南円堂拝観料大人500円、不空院600円、東大寺法華堂800円

募集人数・定員: 20人(最少催行人員: 5人)

応募方法: 専用のお申し込みフォームもしくは「奈良歩き参加希望」、氏名、住所、年齢、電話番号を明記し、FAX 0742-22-9081でお申し込み。

10月8日24時締切。 (応募多数の場合、抽選: 10月10日までに当落を通知)



お申し込みフォーム

祈りの回廊 <http://inori.nara-kankou.or.jp/> 奈良県観光[公式サイト]あをによし [なら旅ネット http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/](http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/)

奈良県観光局 観光力創造課 〒630-8501 奈良市登大路町30番地 TEL:0742-27-8482 FAX:0742-27-3510

※当該掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。 ※本記事内容は2025年8月現在のものであり、内容が変更となる場合があります。